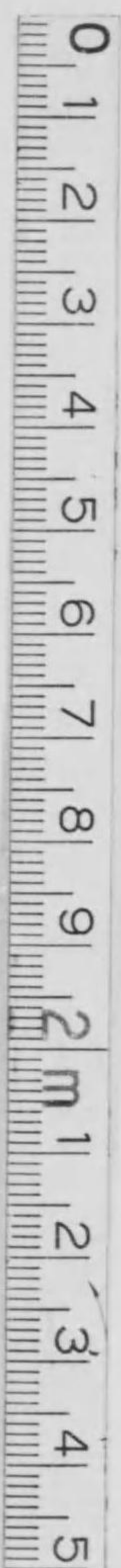


北海道農事獎勵概況

14.21

341



始



三、北海道拓殖銀行肥料貸付町村別調

札幌支應管内	九一
空知支應管内	九三
上川支應管内	九五
後志支應管内	九六
檜山支應管内	九八
函館支應管内	九九
室蘭支應管内	一〇〇
河西支應管内	一〇〇
釧路支應管内	一〇一
網走支應管内	一〇二
増毛支應管内	一〇三
本店取扱分	一〇五
旭川支店取扱分	一〇八
函館支店取扱分	一〇九
畜産指導一覽表	一一一
土地及牛馬ノ比例	一一二

四、畜産關係統計

種牡牛種類分布表	一三
種牡馬種類分布表	一四
乳製品生産表	一五
屠畜比較表	一六
本道人口ノ消費乳肉量比較表	一六
馬匹去勢成績表	一七
畜牛結核病検査成績表	一八

五、大正二年度蠶業補助成績

蠶業教師補助成績	一一九
簡易養蠶傳習所補助成績	一二〇
模範桑園補助成績	一二〇
生繭殺蛹乾燥場補助成績	一二一
桑苗親木圃補助成績	一二一
普通桑園補助成績	一二二
稚蠶共同飼育場補助成績	一二二



大正元年度農事獎勵狀況一般

札幌支廳管内

農事獎勵及狀況

農業

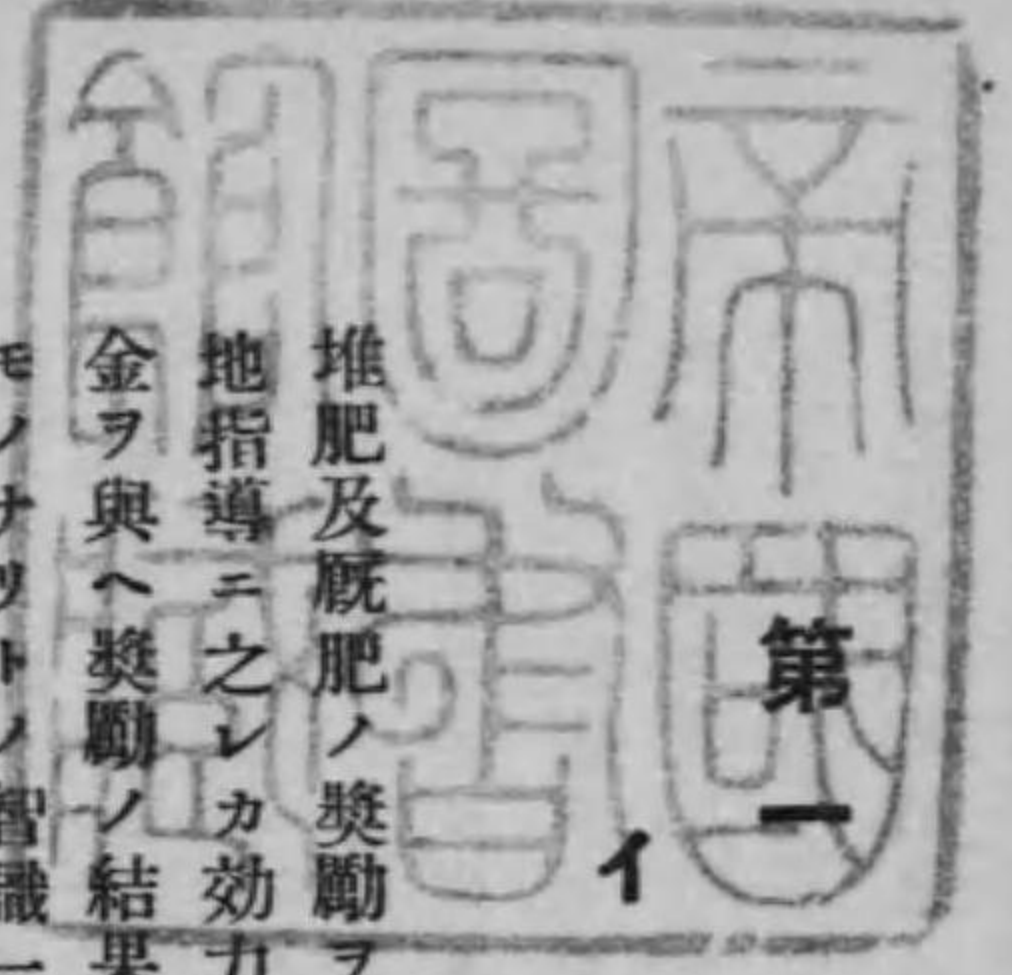
第一 堆肥及厩肥ノ製造

堆肥及厩肥ノ獎勵ヲナサントセハ先ツ其肥効ヲ一般農家ニ周知セシメサルヘカラストシ講習ニ講話ニ或ハ實地指導ニ之レカ効力ヲ説キ指導獎勵ニ力ヲ盡セルト共ニ町村農會ニ於テハ一ヶ所ニ對シ三圓乃至五圓ノ補助金ヲ與ヘ獎勵ノ結果該肥料ハ一種ノ廢物利用ニシテ土壤ヲ肥沃ナラシムルノミナラス土地ノ性質ヲ改良スルモノナリトノ智識一般農民間ニ普及セラレ競テ之レカ製造ヲナシ堆肥及厩肥舍ノ頓ニ増加シ管内總數八十二達シ内農會補助ニヨルモノ三十五一村多キハ二十餘ヶ所ニ及ヘリ而シテ現在建設セララル、モノハ從來ノモノトハ全ク其ノ面目ヲ改メ肥料主要成分ノ發散滲透ノ防遏其他ノ設備成リ稍々合利的ノモノナリ

第二 撰種及交換

種子ノ交換及撰種ハ數年前ヨリ獎勵セルモノニシテ初メハ勸業係員農會技術員ノ督勵ニヨリ受動的ニ之レヲ行ヒシカ農業ニ關スル一般智識ノ普及ニ伴ヒ交換及撰種ニヨル結果ヲ確認シ自ラ進テ之レヲ行フモノ多キニ至レリ

第三 秋 耕



秋耕ニヨル利益ハ唯ニ耕鋤ニヨル効果ノミナラス雜草及害虫ヲ撲滅スル外農業勞働ヲ適當ニ分配シ得ルモノナルコトヲ知リ年一年ト増加スルニ至レリ

第四 病虫害驅除豫防

病虫害驅除豫防ニ關シテハ極力之レカ獎勵ニ勉メツ、アリ春期病虫害發生前各町村ニ驅除豫防液散布器ノ貸與及ヒ機ヲ逸セサルカ如ク吏員ヲ派シテ指導獎勵セリ町村ニ於テハ各部ニ驅除豫防委員ヲ置キ農會員村吏員ト共ニ指導獎勵シ又ハ小學生徒ヲ利用シ麥類ノ黑穂拔及紋白蝶捕獲ヲ行ハシメ又ハ黑穂豫防ノ爲メ種苗圃ヲ設置シ其他講習講話ニ之レカ要ヲ説ケル結果成績ノ見ルヘキモノアリ例ヘハ果樹組合ヲ組織シ組合ニ於テ驅除豫防ニ關スル器具ヲ備ヘ全村舉テ病虫害ノ防除ニ勉ムルモノアルカ如シ然レトモ果樹ノ腐爛病、モニリヤ、水稻ノ稻熱病ニ對シテハ末々良果ヲ收ムル得ヲサルヲ遺憾トス

第五 品種ノ改良

從來ノ農家ハ種子物ニ對スル智識ニ乏クシテ採種ニ意ヲ用ヒサリシカ爲メ品種ハ混淆惡變シ爲メニ收穫物ノ品質ヲ劣變セシメ生産力益々減少セルヲ以テ吏員ヲ派シ又ハ講習ニ講話ニ品種改良ノ急務ヲ説キ其他道廳種子配付規定ニヨリテ純良種子ノ無償配布ヲナス等品種改良ニ勉メタル結果漸次純潔種普及シ良好ナル結果ヲ得タリ

第六 地力減耗豫防

無肥料耕作ノ結果ノ地力ハ益々減耗シ生産力ハ年々減少シ遂ニ救フヘカラサル状態ニ陥ラントスル傾向アリシヲ以テ講習講話品評會其他機會ヲ得ル毎ニ施肥ノ必要ヲ説キ堆肥又ハ厩肥ノ製造獎勵又ハ輪作法ヲ獎メ地力ノ恢復維持ヲ計リタルヲ以テ近來漸ク掠奪的農業ヲ營ムモノ其跡ヲ絶ツニ至レリ

第七 品評會開設

農事ノ改良發達上最モ効果アルモノト認メ毎歲町村農會ヲシテ品評會ヲ開催セシメタリ大正元年ニハ惠庭、

豐平、廣島、當別、千歲、手稻、江別ノ各村ニ於テ立毛品評會舉似、白石、江別、千歲村ニ於テ農產物品評會ヲ開催セルカ前年ニ比シ出品點數増加シ出品物ノ品質又良好ニシテ一般ニ前年ヨリハ盛況結果良好ナルヲ認メタリ

蠶業

蠶業ハ農家ノ副業トシテ有利ナルヲ以テ之レカ獎勵ニ勉メ苗圃、親木圃、模範桑園殺蛹乾繭所稚蠶共同飼育所ノ設置ヲ初メ年々蠶種ノ無償配付ヲナシ之レカ獎勵ニ勉メタル結果當別、手稻稍々良好ニシテ厚田、惠庭千歲ハ漸次發達ノ域ニ進ミツ、アリ

畜産業

副業トシテ家畜家禽ヲ飼育スルモノハ多キモ畜産ヲ專業トスルモノハ割合其數多カラズ然レトモ產牛馬組合ト協力畜産業ノ發達ニ努メツ、アルヲ以テ良種ノ産出セラル、モノ多ク益々改良發達ノ域ニ進ミツ、アリ

第二 農事改良上成績顯著ニシテ特ニ注意スヘキ事項

特筆スル程ノモノナシ

空知支廳管内

第一 農事獎勵及狀況

農業

第一

農事改良特別獎勵事項ノ實施並ニ成績

當管内ニ於ケル農事ノ改良ヲ圖リ以テ地方ノ發展ヲ促サントスルニハ須ラク其根本方針ヲ樹テ秩序アル一定ノ方法ニ依リ施設督勵ヲ加フルニアラサレハ其成果ヲ收メ難キヲ信シ明治四十五年一月道廳ヨリ技師ノ派遣ヲ請ヒ郡農會長等ト審議ヲ重ネ當管内ニ於ケル最モ喫緊ノ獎勵事項トシテ左記八項ヲ撰定シ長官ノ御承認ヲ仰キタルコトハ曩ニ報告シタルトコロノ如シ

- 第一、作物品種ノ改良特ニ燕麥、小麥、馬鈴薯ノ改良ヲ圖ルコト
- 第二、撰種ノ普及
- 第三、堆肥舍ノ建設
- 第四、改良農具ノ普及
- 第五、病害虫及害草ノ驅除豫防
- 第六、果樹栽培ノ改良
- 第七、副業ノ獎勵
- 第八、整地ノ改良

而シテ之カ實施ノ準備トシテ町村長戸長ヲ召集シテ實行方針ヲ指示シ郡農會ニ於テモ亦同シク總會ニ於テ實行ノ決議ヲ爲シ且ツ大ニ氣運ノ作興ニ努メ神官僧侶教師等ニ對シテハ儀式及宗教上ノ集會ヲ機トシ其善導的感化力ニ倚リ思想ノ向上ヲ促シ精神的ニ農事改良ノ急務ニ附スヘカラサルヲ鼓吹スルコトヲ託シ或ハ警察官ニ對シ農家ノ基礎ヲ鞏固ニシ風紀ノ改善ヲ圖リ良習俗ヲ興サントスルニハ先ツ須ラク農事改良ノ積極的施設獎勵ニ依リ其成績ヲ舉クルニ若カサルヲ認メ各種團體ノ施設ニ相當援助ヲ與ヘラレ度旨ヲ依囑シ以テ其必行ヲ期セリ又一般農家ニ對シテハ農事改良事項ニ關スル説明的印刷物ヲ配付シ地主會青年會等トモ氣脈ヲ通シ氣運ノ作興ト實行ノ準備ニ努メタリ而シテ實施ノ成績ハ以下記述スル所ノ如シト雖モ本年ハ實行第一年度ニ

屬シ敢テ顯著ナルモノナキハ寔ニ止ムヲ得サルナリ則チ概要左ノ如シ

第一、作物品種ノ改良

本項ノ施設トシテハ各町村農會ハ各々種苗圃ヲ設置シ農會自ラ之カ經營ヲ爲シ若クハ篤農家ニ委託耕作セシメ孰レモ相當ノ收實ヲ得タリ該收實ハ即チ改良原種トシテ其町村農會ニ配付セルモノナリ即チ左表ノ如シ

種	類	作	付	反	別	收	穫	高	段	當	收	量
燕	麥			四九	六 ^反 一〇			一一	一、八五五			二、四五六 ^石
小	麥			一一	七〇〇			一〇	〇一〇			八五五
馬	鈴	薯		一三	六〇〇			四、四二五 ^畝				三二五、三七〇 ^畝

以上ノ收穫物ヲ配付セル農家ノ數ハ燕麥一、〇三二戸小麥一九四戸馬鈴薯三〇一戸ニシテ極メテ一小部分ニ過キサレトモ尙此他ニ於ケル改良品種普及ノ一般狀況ヲ概觀スルニ農家ハ何レモ優良品種ヲ採用セサルヘカラサルヲ知得シ漸次之カ作付ニ意ヲ用フルノ傾向ヲ生シ來レル者アルハ喜フヘキ現象ナリ

第二、撰種ノ普及

本項ノ獎勵ニ關シテハ年來督勵ヲ加ヒタル結果農家何レモ其實行ニ着手シ殊ニ本年ハ各農會及町村役場篤農家相呼應シテ實施ヲ促シタルカ爲メ各種類ヲ通シ實行セラレサルモノ寧ロ少キノ觀ヲ呈セリ唯撰種方法中穗撰ハ未タ良ク行ハレサルヲ以テ爾今之カ督勵ニ力ヲ須フルコトヲ要ス

第三、堆肥舍ノ建設

本項ニ付テハ各町村又ハ町村農會カ其經費豫算ニ於テ相當補助金ヲ計上シ補助規程ヲ設ケテ建設獎勵ヲ

爲セリ、而シテ初メ本年度ニ於ケル新設見込數ハ一ヶ村少クモ十棟ヲ下ラサル豫定ナリシト雖モ農家業務ノ都合又ハ補助金支給ノ關係上實際建設ノ成績ハ左表ノ如シ

町村名	從前ノ建設		本年ノ新設		豫算補助額	支出額
	棟數	坪數	棟數	坪數		
岩見澤町	1	1	1	1	50,000	50,000
北澤村	1	1	1	1	50,000	50,000
栗笠山	3	3	3	3	150,000	150,000
三笠山	3	3	3	3	150,000	150,000
沼川村	9	9	9	9	450,000	450,000
砂川村	3	3	3	3	150,000	150,000
瀧川町	7	7	7	7	350,000	350,000
江部乙	?	?	?	?	?	?
歌志内	1	1	1	1	50,000	50,000
芦別	1	1	1	1	50,000	50,000
角田	1	1	1	1	50,000	50,000
登川	1	1	1	1	50,000	50,000
浦白	2	2	2	2	100,000	100,000
新津川	6	6	6	6	300,000	300,000
深川	1	1	1	1	50,000	50,000
秩父別	?	?	?	?	?	?
計	11	11	11	11	1,000,000	1,000,000

種別	本年購入	前年末現在
除草器	429	1,612
水田實蒔器	406	1,109
丘墾犁	1	1
計	836	2,721

備考 表中△印ハ町村費豫算ニシテ其他ハ町村農會豫算ナリ其内瀧川町ノ分ハ農事改良費トシテ概括シテ計上セラレタリ

即チ前表ニ依リ獎勵ノ結果建設豫定數ニ達セサルコト四十九棟ノ多キニ及フモ尙在來ノ棟數ニ比シ遙ニ超過セルヲ認ムヘキナリ

第四、改良農具ノ普及

本項ニ關シ一般ノ趨勢ヲ概觀スルニ除草器水田實蒔器ノ如キハ漸ク其使用者ノ増加ヲ見ルニ至レリト雖モ丘墾犁ハ未タ之カ使用ヲ爲スモノアラシ蓋シ山側高臺方面ニ耕地ヲ有スル者多クハ新來ノ農家ニシテ該器械ノ購入ニ伴ヒ馬匹ヲモ買入レサル可ラサルト丘墾犁ノ價格カ普通ノ馬耕犁ニ比シ高價ナルトニ依リ比較的多額ノ資本ヲ要スルニ由ル可シ是等ニ對シテハ共同購入若クハ講ノ如キヲ組織セシメント獎勵ヲ加ヒツ、アリ本年度ノ成績ヲ概括スレハ左表ノ如シ

種別	本年購入	前年末現在
除草器	429	1,612
水田實蒔器	406	1,109
丘墾犁	1	1
計	836	2,721

備考 前表ニハ長沼村ノ分材料無之ニ付省略セリ又前年末現在欄ニ岩見澤、砂川、江部乙、音江、月形、

浦臼各町村ノ分不明ニ付算入セス
 第五、病害蟲及害草ノ驅除豫防。第六、果樹、栽培ノ改良
 以上ハ便宜上別章ニ於テ之ヲ叙述スヘシ
 第七、副業ノ獎勵中畜産及蠶業ニ關シテハ別章ニ之レヲ叙述シ本項ニ於テハ其ノ他ノ副業ニ付之カ概要ヲ
 記述スヘシ

本管内ニ於ケル農家ノ副業トシテ最モ適當ナルモノハ養蠶、養鶏、澱粉製造、織物及藁細工等ト爲ス就中藁
 細工品ハ農家必需ノ物品ニ拘ハラズ從來之ヲ府縣ノ輸入品ニ傾キ其額頗ル大ナルモノアリ近時水田ノ開發盛
 大ニ赴キタルヲ以テ冬季農閑ヲ利用シテ之カ製造ヲ獎勵スルハ農業經濟ノ發達上極メテ有益ナルヲ論ナシ前
 年度ニ於テハ道廳ヨリ講師ヲ派遣シテ藁細工品製造ノ講習ヲ開催セラレタレトモ本年度ハ之ヲ廢セラレタル
 ヲ以テ青年會等ニ於テ之ヲ製造賣却シテ斯業ノ獎勵ヲ兼ネ貯蓄ノ勸奨ヲナスモノ二三アリ其他一般農家ニ在
 リテモ追々絢繩器ヲ購入シテ餘暇ニ製繩ニ從事スル者ヲ見ルニ至レリ
 本年度ニ於ケル養禽ノ狀況(六月三十日現在最近ノ材料ナシ)在表ノ如シ

種類	飼養戸數	羽數	價額	産卵價額
鷄	一一、五九六	一五五、五八九	四四、九七七	七四、六二一
鶩	一八五	一、六六五	六四七	五一五
計	一二、七八一	一五七、二五四	四五、六二四	七五、一三六

之ヲ前年ニ比スルニ鷄ノ飼養戸數二百六十六戸ト増シタレトモ羽數ニ於テ四千二百三十二ヲ減シ産卵價額
 ニ於テ却テ八千五百圓ヲ増シタリ鶩ハ飼養戸數九十三ヲ増加シ羽數モ亦二倍餘ニ達シ産卵價額二百圓ヲ増シ

タリ要スルニ家禽ノ飼養戸數ハ未タ農家ニ洽カラスト雖モ前表ニ依ル一戸平均ノ飼養數十二羽餘ニ當ルヲ以
 テ漸次優良品種ノ蕃殖ヲ促シ以テ農家ノ經濟ヲ助ケシムルハ極メテ肝要ナルヲ認ム

第八、整地ノ改良

本項ハ專ラ畦ノ方向ヲ改良スルモノニシテ管内ニ於ケル畑地面積約九万町歩内山側高臺ニ屬スルモノ約
 一万餘町歩兩餘ハ平坦ニ屬スルモノトス而シテ本年中改良サレタル畦ノ方向ハ山側高臺ニ於テ約五千町
 歩平地ニ於テ約二万町歩トス

第二 農作物

當管内ニ於ケル農作物ハ水田開發ノ旺盛ナル伴ヒ米穀ノ産額著シク増加セシト雖モ地勢及灌溉溝施設ノ關係
 等ヨリ尙其耕作ハ畑作物ノ耕地面積ニ比シ七分ノ一ニ過キス畑作物中主タルモノハ小豆ニシテ之ニ亞クモノ
 ハ燕麥、裸麥、菜種、大豆、小麥、豌豆、菜豆等トナス今一般農作物ニ對スル一般ノ獎勵施設トシテハ適當
 ノ輪作ヲ爲スコト、乾燥調製ニ注意スルコト是ナリ殊ニ乾燥調製ニ付テハ長官ノ告諭モアリ本道産物ノ聲價
 ヲ高メ農家ノ經濟ニ關スルコト頗ル大ナルモノアルヲ以テ特ニ意ヲ注キテ之ヲ實行獎勵ニ努メタリ今大正元
 年中ニ於ケル各種農作物ノ狀況ヲ表示スレハ左ノ如シ

種類	作付反別	收穫高	本年	前年ヨリ増額	一石ノ價	一反歩	一反歩
米	一三、六〇四反	一八四、九七七	三、〇三三、一六六	一、七六、八三三	一六、三四三	一〇、三三三	三三、三三三
裸麥	六、八七、八	六八、八〇七	六〇、八七二	一、五、四七	八、八四六	一、〇〇〇	八、八四六
小麥	六、四六、七	六、七〇	五八、七三	六、三、五三四	九、六八七	〇、九	八、六八七
燕麥	一一、四四、三	二五、七四	八八、八三〇	三、三、三八	三、三三三	二、二八	七、三三三
豆	一五、八三、四	一五、四三	二、七、九六九	一、四、六、八三	一、四、三三	〇、九	一、三、六八

植付總本數	剪實行本數	剪枝ノ歩合	袋掛實行本數	袋掛ノ歩合
二七〇、八七一 <small>本</small>	一一一、四九八 <small>本</small>	四、一一	六、一八五 <small>本</small>	二、二八

即チ剪枝ノ實行ハ漸ク四〇%餘ニシテ袋掛ニ至リテハ僅ニ二%ニシテ殆ント言フニ足ラス然レトモ袋掛ニ結實適齡樹數一七五、四五二本ニ對シ其割合ヲ見ルトキハ三%五二餘ニ當リ更ニ結實適齡樹ノ中ニ於テモ實際結實セサルモノモ之レアルヘキヲ以テ尙其割合ハ増大スヘキナリ

剪枝及袋掛ノ獎勵トシテハ道廳ヨリ技術員ノ派遣ヲ請ヒ又當廳及郡農會ヨリ技手ヲ出張セシメ直接當業者ヲ指導シ江部乙瀧川ノ如キ熱心ナル地方ニ在リテハ農會ニ於テ共同の施設ヲ爲シ又剪枝品評會ヲ開催シテ其優劣ヲ比較審査シ各砥勵セント欲スル企アリ

當管内ニ於ケル苹果樹中病害虫若クハ老衰品種劣惡等ノ爲メ淘汰改植ヲ要スルモノアリ今最近ノ調査ヲ舉クレハ左表ノ如シ

植付總本數	病害虫ノ爲メ改植ノ要スル本數	老衰ノ爲メ改植ノ要スル本數	品種淘汰ノ爲メ改植ノ要スル本數
二七〇、八七一 <small>本</small>	三一、四二六 <small>本</small>	四、三三三 <small>本</small>	六、八一八 <small>本</small>

第四 病害虫及害草ノ驅除豫防

病害虫及害草ノ驅除豫防モ亦管内農事改良特別獎勵事項ノ一トシテ之カ實行ヲ期シ一般の督勵ヲ加フルト同時ニ各町村並ニ町村農會ヲシテ之カ爲メニ要スル經費ヲ豫算ニ計上シ其他必要ナル施設ヲ爲サシメ更ニ害虫發生シテ其害ヲ大ナラシメントスル兆候ヲ認ムルヤ支廳令ヲ發布シテ害虫驅除豫防法ノ施行ヲ命ジ以テ一層其効果ヲ確實ナラン事ヲ期シタリ今年度ニ於ケル防除方法施行ノ狀況並ニ其成績等ヲ約述スレハ左ノ如シ

一、病番蟲ノ分布並ニ其被害ノ狀況

果樹ニ在リテハ腐爛病、葉捲虫、粘蠟虫、綿虫、介殼虫、果蠹蟲、筒簍蟲、等ニシテ管内ニ於ケル苹果樹栽培地何モ其發生ヲ見サルナク又田畑ノ作物ニ對シテハ稻蠶虫、浮塵子、夜盜虫、紋白蝶、二十八星瓢虫麥類黑穗病、馬鈴薯疫病、水田ニ於ケル稗及松葉蘭等ニシテ各町村ニ亘リ分布セシト雖モ概シテ被害微少ナリキ其作物並ニ被害ノ狀態ヲ示セハ左ノ如シ

種類	被害見積反別	被害減收高	實際收穫高	被害歩合
苹果	四九三	一七八、〇六四 <small>石</small>	七一八、九五〇 <small>石</small>	二四%七
豌豆	三三五	五七六	四三、七一七	一%三
亞麻	六五	五、一八八	九六三、三一八	五%四
稻	三、〇九〇	三、六七九	一八四、九七七	二%〇
小豆	三五六	二八三	一五三、四二五	〇%二
大豆	二〇〇	三二〇	五七、八〇八	〇%五
麥類	五一九	二、一四一	一二七、五一七	〇%二
蕎麥	四八	一五七	二四、五五二	〇%六
馬鈴薯	二六四	四二、五二七	一〇、〇九四、五五七	?
及其他野菜				

即チ本年度ニ於テハ苹果ノ被害減收約二割五分ヲ除クノ外豌豆亞麻ニ於ケル夜盜蟲稻ニ於ケル螟蟲ノ如キモ僅ニ百分ノ二乃至五ニ止マリシハ發生ノ少カリシニ由ルト雖モ亦防除督勵ノ効果少シトナサス

水田ニ於ケル松葉蘭ハ到ル處ニ發生ヒシト雖モ殊ニ雨龍郡方面實時ヲナス地方ニ於テ尤モ猖獗ヲ極メツ、ア

リ之カ防除ニ關シ未タ的確有効ノ方法ナキハ甚タ遺憾トスル所ナリ
二、防除ノ方法並ニ施行ノ狀況

害蟲驅除豫防法ノ施行ヲ命スルヤ町村吏員農會役員及蟲菌驅除豫防委員ヲ督勵シ且ツ當應ヨリ技手ヲ派遣シテ之カ監督ヲ爲サシメ一面警察官ニ依囑シテ法規勵行上萬一ノ不法行爲ニ備ヘタリ斯ノ如クニシテ苹果ノ栽培地タル瀧川町江部乙村ノ如キハ技術員ヲ特設シ毎日各作人ヲ巡回シテ防除ノ實行ヲ薄ク或ハ藥劑ヲ共同蠟入シテ共同驅除法ヲ行ハシメ其他ノ栽培地ニアリテモ腐爛病及害蟲ノ被害甚シキモノハ之ヲ伐採シ二三町村ノ驅除ノ充分ナラサルモノニ對シテハ町村又ハ農會ノ費用ヲ以テ人夫ヲ雇ヒ之ヲ引率シテ各戸ニ臨ミ嚴ニ實行ヲ命シ被害尤モ甚シキモノハ直ニ之ヲ伐採シテ法規ノ勵行ヲ期セリ夜盜蟲ニ對シキハ明溝ヲ設ケテ其蔓延ヲ防キ及糖蜜誘殺法ヲ行ハシメ稻蠟虫ニ對シテハ盛ニ誘蛾燈ヲ點火セシメテ驅除豫防ヲ行ヘリ而シテ蠟虫ハ到ル處ノ水田ニ發生セサルナク從テ其被害モ大ナラントスル懼アルニヨリ町村又ハ農會ヲ督勵シテ誘蛾燈ノ共同購入ヲナシ若クハ之カ購入配付ヲナサシメ江部乙村ノ如キハ誘蛾燈點火示票ナルモ稻田ノ稗拔キハ一般ニ之ヲ獎勵シ實行セシメシモ就中岩見澤米作改良組合ノ如キ完全ニ之ヲ施行セリ其他浮塵子、麥類黑穗病、紋白蝶ノ如キ其發生區域一局部ニ止マレルアリ或ハ被害程度ノ極メテ寡少ナルアリ共ニ喜ハシキ現象ナリキ

三、成績

苹果ヲ除ク外被害ノ程度ノ寡少ナリシコト前表ニ示セルカ如シ而シテ今防除ノ成績ヲ掲クレハ左ノ如シ

果樹伐採數	七、九八一	病害蟲驅除	1011、3113	藥品使用戸數	九七九	誘蛾燈點火數	一九、五一四	誘蛾燈設備數	二二、六三九
-------	-------	-------	-----------	--------	-----	--------	--------	--------	--------

備考 前表中藥品使用ハ果樹ニ對スル驅除豫防ニシテ誘蛾燈ハ主トシテ稻蠟虫ノ驅除豫防ニ係ルコト前

ニ述ヘタルカ如シ

即チ苹果樹ノ病害蟲ニ罹リ伐採セルモノハ栽植總本數ノ約三%ニシテ結實ハ適齡總本數ノ四%五%ニ當リ其病害蟲ヲ驅除セシ本數ハ栽植總數ノ三八%ニ過キス然レトモ江部乙町瀧川町ノ如キ苹果ノ主要産地ニ於テハ殆ント其全部ニ行渡リテ驅除豫防法ヲ行ヘリ又稻蠟虫ノ防除方法トシテ誘蛾燈ヲ點火セシハ正ニ設備總數ノ八割二分除ニシテ水田一町歩ニ對シ五個ヲ要ストセハ約四千町歩ニ行キ渡レル計算ナリトス
更ニ病害蟲驅除豫防ニ要セル費用ヲ見ルニ其民費ニ屬スルモノハ暫ク正確ノ計算ヲ得難シト雖モ町村及町村農會ニ於ケル分左ノ如シ

豫算額	三三五、〇〇〇	村決算額	一八六、一五〇	町算額	五三六、〇〇〇	農會決算額	一四九、六五五
-----	---------	------	---------	-----	---------	-------	---------

第五 品評會

農産物ノ優劣ヲ比較審査シ各農家ヲシテ農業經營上採長補短ノ途ヲ講セシムルハ農事改良上必要ノ施設ナルヲ以テ當應ニ於テハ夙ニ之カ開設ヲ獎勵シ來レリ殊ニ本年ハ之ヲ以テ農事改良特別獎勵事項實施成績ノ監査ヲ爲スヘキ機關タラシメント欲セリ即チ立毛品評會十六成品々評會五ニシテ之ヲ前年ニ比スルニ立毛品評會四成品々評會一ヶ所ヲ増加セリ其成績左表ノ如シ

主催者	出品物種類	品評會種別	出品人員	出品點數	受賞人員	來觀人員
岩見澤町農會	燕麥、小麥、水稻、小豆	立毛品評會	二四九	二四九	八三	

栗澤村農會	大麥、小麥、裸麥	立毛品評會	九六	一一六	五〇
砂川村農會	燕麥、小麥、水稻、小豆	同	一四〇	一四〇	三〇
瀧川町農會	裸麥、小麥	同	五三	五三	二〇
音江村農會	麥、小麥	同	一一一	一一一	四三
由仁村農會	麥、小麥	同	七〇	一七一	七〇
長沼村農會	麥、燕麥	同	二四六	二四七	九八
角田村農會	水	同	一五六	四〇六	九九
月形村農會	水	同	一四八	一四八	五四
浦臼村農會	小麥、水	同	一五五	一五五	五一
新十津川村農會	水	同	六五	六五	三〇
秩父別村農會	水	同	五二七	五二七	一一九
一巳村農會	水	同	九七	九七	三七
三笠山村農會	穀菽、蔬菜、果實	同	二三五	五三一	四七
瀧川町	穀菽、蔬菜、其他農產物	同	六三	一〇〇	七〇〇
芦別村農會	小麥	同	一三二	一三二	一、二〇八
蜂須賀農場	米	同	三三〇	三三〇	二五四

岩見澤、砂川、浦臼ハ出品物種類ノ關係上二回ニ之ヲ開キタリ而シテ以上ノ各品評會中立毛品評會ハ當該町村ノ主要農產物ニシテ即チ水稻九、小豆五、燕麥及小麥各四、苹果一ニシテ孰レモ各耕作者ノ圃場ニ就キ親シク品種ノ優劣撰種ノ善惡除草肥培、病蟲害驅除豫防等ニ關シ細密ノ審査批評ヲ加フルヲ以テ一般農家モ漸ク其効果ヲ認ムルニ至レルカ如シ故ニ立毛品評會ハ年々開催數著シク増加シ同時ニ成品々評會ハ之ニ反シテ其數ヲ減スルヲ見ル

第六 農事講習會並ニ講話會

農事ニ關スル講話ハ主トシテ道廳ヨリ技手ヲ各村ニ派遣シ實地指導ト併セ施行セラル、ト雖モ二三町村農會ニ於テ冬季農閑ヲ利用シ專門技術者又ハ學校教師ヲ聘シ各部落ヲ巡回シテ講話ヲ爲スアリ郡農會ニ在リテモ隨時技術員ヲ出張セシメ或ハ專門ノ學者ヲ招キ講演會ヲ開ク等平易ノ方法ニ依リ農事ニ關スル新智識ノ普及ヲ圖リツ、アリ農事講習會モ亦之カ講師ヲ道廳ノ派遣ニ仰キ各町村農會主催ノ下ニ一週間乃至十日間開催セリ今年度ノ成績ヲ見ルニ左表ノ如シ

主催者	講習科目	講習人員	講習證書授與人員	聽講人員
岩見澤町	土壤肥料 作物病虫害	二七	一九	五
栗澤村農會	作物、土壤、肥料、病虫害	二六	二六	五
幌向村	產 業 組 合	三三	二三	
同 上	作物、土壤、肥料、畜產	三八	一五	
三笠山村農會	果樹、蔬菜、病理、害虫、畜產	三二	三〇	一五
砂川村農會	作物、土壤、肥料、病理、果樹	三九	二八	一五
瀧川町農會	養蠶、畜產、肥料、病理、害虫	二七	一九	三五
江部乙村農會	同上及養蠶、蔬菜	二八	二五	
歌志内村農會	作物、病理、害虫	三三	一九	
由仁村農會	作物、肥料、害虫、畜產	三五	三〇	一四

長沼村農會	削	二二	二二	一八	六二
角田村農會	作物、土壤、肥料、病理、害虫	二八	二二	二二	二二
浦臼村農會	畜産、農業、經營法	三〇	一三	二二	二二
新十津川村農會	作物、土壤、肥料、病理、害虫	二五	二二	二二	二二
深川村農會	作物、土壤、肥料、畜産	一二	一二	二二	二二
一已村農會	同	三四	二五	二二	二二
雨龍村農會	同	四二	三六	二二	二二
空知外三郡農會	農業經營、肥料、作物、汎論	二七	二二	二二	二二
計	病虫害畜産	五三九	四〇八	一八九	一八九

之ヲ前年ニ比スルニ會數七講習人員二倍除ニ上レリ要スルニ農事講習會ハ最近各町村農會主催ノ下ニ漸ク盛大ニ赴キツ、アルハ其效果ノ一般ニ認識セラル、ニ至リシ結果ニ外ナラス蓋シ其開催期ハ恰モ農事閑散ノ時期ニ當ルヲ以テ當管内ノ如キ開拓事業ノ進歩セシ地方ニ在リテハ此種ノ計劃ニ依リ農事ノ新智識ヲ普及スルト同時ニ農事改良事項ノ實行ヲ督勵スルハ其效果ノ鮮少ナラサルヲ認メラル、ニヨル

蠶業

第一 一般概況

蠶業ハ農家ノ副業トシテ最モ適當ナルヲ以テ從來豊富ノ野桑ヲ利用シテ之カ飼育ヲ獎勵シ來リシカ特ニ本年ヨリハ農事改良特別獎勵事項ノ一トシテ副業ノ獎勵ヲ撰定シ各農家ハ其本業ニ差支ナキ限り一戸ニ付蠶量二匁以上ノ飼養ヲ獎勵セリ然レトモ現時ノ狀況ヲ概觀スレハ浦臼、沼貝、岩見澤等二三町村ヲ除クノ外甚タ盛

ナラス蓋シ養蠶期節ハ恰モ耕作上最モ繁忙季ニ當ルヲ以テ自然其飼育ヲ控フル者アルト近時開墾ノ進ムニ伴ヒ野桑漸ク減少シテ給桑上ノ利便ヲ欠キ多クノ費用ヲ要スルニ至リタルニ由ル殊ニ水田地方ニ於テハ此趨勢最モ甚シキヲ認メラレ當應ニ於テハ夙ニ桑園ノ設置並ニ其整理ヲ獎勵シ農會ニ桑苗親木圃ヲ設ケシメ苗木ヲ會員ニ配付セシムル等頗ル獎勵ニ努メタリ今最近四ケ年間ノ蠶業概況ヲ示セハ左表ノ如シ

年次	桑園反別	飼育戸數	掃立枚數	收繭高
明治四十二年	六五二、三	二、一四五	三、八六五	二、七五七
同 四十三年	五五六、三	二、七〇四	三、二三一	二、四五三
同 四十四年	五〇八、三	二、二〇一	二、四四二	二、〇二五
大正元年	四四九、三	三、〇三五	二、二〇八	一、八八七

前表中桑園反別ノ中ニ野桑ノ收穫シタル分ヲ見積リタルモノヲ含ム而シテ桑園反別ノ減少ニ伴ヒ掃立枚數及收繭高ノ減セルヲ見ル
蠶絲業法施行セラレタル結果從來少許ノ自家用蠶種ヲ製造シ飼養シ來リタル者カ之カ禁止ニ逢遭シ蠶種ヲ購入セサル可ラサルコトナリ自然其手數ヲ煩ヒ掃立サルニ至ル者アリ之カ爲メニ飼育戸數ハ幾分ノ減少ヲ見ルヘキカ

第二 桑苗親木圃

當管内ニ於テ桑園設置獎勵ノ爲メ桑苗親木圃ヲ設クルモノハ浦臼、砂川、及瀧川ノ三町村農會ニ過キス而シテ年々苗木ヲ採取シ各會員ニ配付セルカ最近ノ成績ハ次表ノ如シ

農會	四十一年	大正元年
浦白村農會	一、五〇〇 <small>本</small>	二、〇〇〇 <small>本</small>
砂川村農會	一四、五〇〇	一五、四五〇
瀧川町農會	三、二三〇	四、〇〇〇

第三 模範桑園

管内ニ於ケル桑園經營ノ模範ヲ示サンカ爲メ模範桑園ヲ設置シタルモノ岩見澤、瀧川、及秩父別砂川ノ各町村農會ニシテ創設以來道廳ヨリ補助金ノ交付ヲ受ケ來レリ

農會	創設年月	反別	補助金
岩見澤町農會	明治四十年四月	三、〇〇〇	二六、〇〇〇 <small>附</small>
瀧川町農會	同四十二年四月	三、〇〇〇	一五、〇〇〇
秩父別村農會	同四十四年五月	三、〇〇〇	二〇、〇〇〇
砂川村農會	同四十三年五月	三、〇〇〇	三〇、〇〇〇

第四 普通桑園

蠶業ノ堅實ナル發達ヲ圖ラント欲セハ須ラク桑園ノ設置ヲ要スヘキハ論ヲ俟タサルトコロニシテ殊ニ當管内ノ如キ開墾事業ノ進歩ニ伴ヒ野桑ノ漸次減少スル地方ニ於テハ特ニ其必要ヲ見ル茲ヲ以テ從來桑園ノ設置及其整理ヲ獎勵シ尙道廳ヨリ補助金ノ交付ヲ受ケタルモノアリ今補助桑園ノ狀況ヲ見ルニ其尤モ多キハ浦白村ニシテ他ノ町村ニ在リテハ僅ニ一二名ニ過キス即チ左ノ如シ

町村名	補助桑園反別	人員	員	補助金額
浦白村	四、八五〇〇		一七 <small>人</small>	一〇四、〇〇〇 <small>附</small>
瀧川町	一、四〇〇〇		五	二八、〇〇〇
秩父別村	一、五〇〇〇		一	三〇、〇〇〇
沼貝村	八〇〇〇		一	一九、〇〇〇
北龍村	七〇〇〇		一	一四、〇〇〇
角田村	五、六〇〇		一	一一、二〇〇
一巳村	五、〇〇〇		一	一〇、〇〇〇
歌志内村	二、〇〇〇		一	六、〇〇〇
栗澤村	二、〇〇〇		一	四、〇〇〇
由仁村	三、三〇〇		一	九、九〇〇
計	一一、〇四〇〇		三一	二二六、〇〇〇

前表ハ大正元年ノ事實ニシテ之ヲ前年ニ比スルニ反別三町六反七畝人員七人金額百參圓拾錢ヲ減セリ

第五 稚蠶共同飼育場

明治三十六年道廳令第一號ニ依リ稚蠶共同飼育場ヲ設置セルモノ本年度ニ在リテハ唯砂川村ニ於ケル一ヶ所アルノミ道廳ヨリ金壹百圓ノ補助ヲ受ケテ經營シ其成績頗ル良好ナリキ即チ左ノ如シ

共同者員數	種類	類	掃立蟻量	收繭量
二三	青	熟	五二 <small>枚</small>	一三〇、七〇〇

第六 蠶業教師ノ指導

本年度ニ於テ一般當業者ヲ指導スル爲メ蠶業教師ヲ雇傭シ巡回指導ニ任セシメタルハ岩見澤、瀧川、秩父別歌志内ノ四町村農會ニシテ孰レモ相當ノ成績ヲ收ムルコトヲ得タリ而シテ是等四農會ハ道廳ヨリ補助金トシテ各金八拾圓ノ交付ヲ受ケタリ

第七 生繭殺蛹乾燥場

本道産生繭ノ價格低廉ナリトテ各養蠶家中ニ多少ノ歎聲アルハ生繭ノ品質惡シキカ爲メニアラスシテ寧ロ賣買ノ際ニ於ケル商人ノ手段ニ由ルモノ多キカ如シ而シテ此弊害ヲ防クニハ生繭ヲ殺蛹乾燥シテ商人ノ乘スヘキ機會ヲ除クニ若カス當管内ニ於テ此目的ニ依リ生繭殺蛹乾燥場ヲ設置セルハ秩父別、砂川、浦臼ノ三村農會ニシテ孰レモ道廳ヨリ補助金ノ交付ヲ受ケ其指導設計ニ依リテ設置セリ殊ニ蠶業ノ般ナル浦臼村ノ如キハ生繭三石ヲ入ル、ニ足ルヘク成績良好ナリト雖モ唯憾ムラクハ一般當業者カ同ク之ヲ利用シテ收益ヲ計ルノ念ニ乏シキコト是ナリ

第八 蠶種製造

本年度當管内ニ於ケル蠶種製造家ハ二十五戸ニシテ之ヲ前年度ニ比スルニ僅ニ四戸ノ増加ニ過キス本年度ヨリハ蠶絲業法施行セラレタル結果自家用蠶種ノ製造ヲ禁セラレタリト雖モ從來自家用蠶種ハ其製造戸數ノ多カリシ割合ニ産出甚タ少カリシヲ以テ同法ノ施行ハ本業ニ格別ノ影響ヲ及ホサス即チ左ノ如シ

年 度	製造戸數	製 造		價 格
		普 通	高 製	
四十四年	二一	五、七九二	四三三、四四〇	一一、八〇一
大正四年	二五	五、三八六	五四〇、四八四	一六、〇七六
自十四年用	二七	五〇	六七二	六九

第九 製 絲 業

多年本道ニ於テ器械製絲ニ從事シ道廳ヨリモ多額ノ補助金ヲ受ケ頗ル盛大ニ事業ヲ經營シ來リタル瀧川製絲所ハ數年來斯業界不況ノ影響ヲ蒙リ本年五月遂ニ廢業ノ止ムナキニ至リタル爲メ製絲ノ産額著シク減額セリ座繰製絲業者モ亦僅ニ四十五戸ニシテ之ヲ前年ニ比スルニ十一戸ヲ減シタリ要スルニ製絲業ハ未タ副業の事業トシテ發達ノ機運ニ達セス僅ニ一部當業者カ自家ノ産繭ヲ消流スルニ過キサリナリ而シテ本年ノ成績ヲ舉クレハ左表ノ如シ

年 次	器械製絲	座繰製絲	玉絲製造	生 産		額 價		額 價	
				額	價	額	價		
大正元年	六戸	四五戸	八戸	六四三	三〇、七五一	三三七	五、八八八		
明治四十四年	一	五六	一〇	一、三五〇	七二、八三五	六九二	四、一〇一		

八 畜 産

第一 一般概況

畜産ノ獎勵モ亦農事改良特別獎勵事項中副業獎勵ノ一項目トシテ各農家ヲシテ少クモ牛馬二頭ヲ飼養スルコトヲ督勵セリ而シテ當管内ニ於テハ専ラ農家ノ勞役ヲ助ケシムル目的ヲ以テ馬匹ノ飼養スル者多ク牛ハ主トシテ搾乳ヲ目的トスル一部ノ者ニ飼育セラル、ノミ共ニ副業の事業トシテ其生産蕃殖ヲ目的トスル者甚タ少キカ如シ然レトモ馬匹ノ改良ハ最近數年間ニ於テ著シク其成績ヲ顯シ大ニ面目ヲ一新シ毎年施行セラル、軍馬購買ニ際シテモ其都度本道中最モ多數ヲ占ムルニ至レリ畜産製造ニ在リテモ僅ニバター製造二戸アルノミ牛乳搾取業ハ近時一般ノ需要増加スルニ伴ヒ稍發展ノ傾ナキニアラサレトモ主トシテ市街地附近ノ狀況ニ止

マリ未タ農家ニ好影響ヲ及ホスニ至ラス今年年末ニ於ケル牛馬ノ現在頭數ヲ見レハ左ノ如シ

年次	牛		馬	
	牝	牡	牝	牡
大正元年	八七四	二七二	一、一四六	七、六四五
明治四十四年	九五五	三三二	一、二八七	一三、〇二一
計			七、八一九	二〇、六六六
計			一、二五二七	二〇、三四六

即チ前年ニ比シ牛ハ百四十一頭ヲ減シ馬ハ三百二十頭ヲ増加セリ而シテ本表外豚ハ今年年末ニ於ケル總數ハ二千百十三頭ニ過キス
 家畜ノ改良蕃殖ニ關スル狀況ハ民間ノ種畜ヲ除ク外ハ馬政局長万部種馬所ノ出張種付所ト空知外三郡產牛馬組合ニ於ケル種畜ノ配當種付ト爲ス今年度ニ於ケル此等種畜ノ狀況ト生産ノ關係ヲ示セハ左表ノ如シ

種類	馬政局種付所		民有種畜		蕃殖適齡		生産頭數
	種畜	種畜	種畜	種畜	牝牛	牡馬	
馬	六	二一	六〇	一一	四八九	五、二七二	二四九
牛	一	四	二	二	一、二八一		一、二八一

種畜一頭ニ對スル牝ノ平均割合ヲ見ルトキハ牛ニ在リテハ牝牛一頭ニ付牝牛三十頭馬ニ在リテハ牝馬一頭ニ付牝馬六十頭餘ニ當ル然レトモ實際ニ於テハ全ク種付ヲ爲サ、ル牝牛馬アルヲ以テ種畜ノ利用割合ハ之ヨリ下ルモノトス而シテ蕃殖牝牛馬ニ對スル其生産割合ハ牛ハ五一%馬ハ二四%餘ニ當ル其ノ他馬政局ニ於テハ毎年産馬獎勵金ヲ交付シテ優良牝馬ノ飼養及蕃殖ヲ獎勵セラルルアリ本年度當管内ニ於テ其交付ヲ受ケタルハ僅ニ二頭ニ過キス

第二 畜産講習會

畜産業ノ改良進歩ヲ圖ルカ爲メ其思想ヲ涵養スルノ必要ヲ認メ各町村農會又ハ產牛馬組合主催ノ下ニ夙ニ畜産ニ關スル短期講習會ヲ開催シ來レリ唯經費支出ノ都合上農事講習會ト合同セサルヘカラサルハ遺憾ナリ而シテ本年度ニ於ケル其成績ハ別項農事講習會ノ下ニ之ヲ掲表セル外空知外三郡產牛馬組合主催ノ左記講習會ノ狀況ナリトス

開催地	講習科目	講習人員	講習證書授與人員	聴講人員
一已村多度志	畜産一般	四二	三〇	一三

今茲ニ當業者ノ畜産改良ニ關スル思想ノ一斑ヲ觀察スルニ牛ニ就テハ始ント言フニ足ルモノナシト雖モ馬ニ對シテハ頗ル熱心ナルモノアリ殊ニ近來ハ一般農家カ其勞役ニ服セシムル上ニ於テトロッター及サラブレツド等ノ輕種ニ屬スルモノヨリモベルシユロン又ハクライデスデル等ノ重種ニ屬スルモノヲ好愛シ喜ンテ高價ノ種付料ヲ拂フ傾向アルハ農業ノ盛ナル當管内ニ於テ適良ナル現象ト認メラル蓋シ畜産講習會モ興カリテ力アラシカ

第三 產牛馬組合

本組合ハ明治四十一年十二月廿三日ノ創立ニシテ現在組合員一万五千八百廿六人其所有牛馬頭數二万一千六百卅三頭ニシテ主タル事業ハ種牝牛馬ノ配置、技術員ノ設置、牛馬飼料ノ改良及畜産講習會ノ開催等トス其他牛馬糶賣及競馬等ハ之ヲ行フト雖モ甚タ盛ナラス本組合ノ經費ハ本年度分豫算貳千六百拾六圓六拾四錢九厘ニシテ主タル財源ハ牛馬頭數割、種畜頭數割、貸付種畜貸付料及軍馬賣上ノ歩合金等トシ之カ支出ノ概況ハ事業費トシテ千貳百六拾貳圓餘事務所費トシテ七百貳拾參圓餘其他會議費並ニ聯合會負擔金等ナリ其成績中種畜ノ配置並ニ組合員所有種畜ト其生産牛馬ノ割合トハ前項一般概況中ニ之ヲ掲ケタルヲ以テ省略シ飼料

改良ハ本年始メテ各町村組合員三百十九人ニ對シチモシ、オーチヤード及レツドクロバーノ三種ノ牧草種子ヲ配付シ以テ牧草畑ノ創設ヲ促セリ
又本年札幌ニ於テ開催セラレタル北海道畜産共進會並ニ馬匹共進會ニ對シ本組合員中ヨリ出陳セルモノ牛馬各三頭ニシテ内ニ等賞ヲ得タルモノ馬匹一頭三等賞ヲ得タルモノ牛一頭四等賞ヲ得タルモノ馬匹二頭トス而シテ此等出陳ノ牛馬ニ對シテハ本組合ヨリ各其運賃ヲ補助セリ

第四 家畜衛生

牛馬ノ疾病ニ付テハ特殊ノモノヲ認メスト雖モ當業者カ飼養管理上ノ不注意ヨリ多ク馬匹ノ骨軟症ヲ發生セシメ春期ニ至リ斃死セシムルモノ少カラス殊ニ此等ノ傾向ハ水田地方ニ多キカ如シ當業者ハ冬季積雪堆裡厩舎ニ於テ稻藁ノミヲ飼料トシテ給與シ毫モ運動ヲ爲サシメス且ツ漸ク融雪期ニ近ツクニ從ヒ更ニ大豆燕麥ノ如キ濃厚飼料ヲ多量ニ與フルニ基因スルモノナリト云フ要スルニ當業者カ飼養管理ニ關スル智識ノ缺欠ヨリ來ルモノナルヲ以テ將來大ニ畜産講習會等ヲ開催スル必要ヲ認メラル
又家畜ノ衛生上ノ注意ヲ與フル目的ヲ以テ毎年産牛馬組合ニ於テハ牛馬實査ノ際技術員ヲ各村ニ派遣シテ牛馬ノ檢査ニ立會セシメ、一々調査ヲ爲サシメツ、アリ

二 其他

第一 篤農家表彰

本年度當管内ニ於テ篤農家ヲ表彰セルハ唯栗澤村農會ノ企アルノミ同農會ハ四月一日同村南小學校ニ於テ其式ヲ舉ケ表彰規程ニ基キ甲表彰者十名ニ對シ木杯一個乙表彰者十六名ニ對シホーク一挺ツ、ヲ贈與セリ

第二 農事改良ノ團體

本管内ニ於テ法律ニ依ラサル團體ニシテ專ラ農事ノ改良發達ヲ目的トスルモノハ岩見澤川向米作改良組合及

角田村産米改良組合及空知外三郡地主會ノ三トス而シテ

岩見澤川向米作改良組合ハ明治四十四年九月ノ設立ニ係リ岩見澤川向土功組合區域内ニ於ケル水田所有者又ハ耕作者ヲ以テ組織シ組合内ノ米作改良及其發達ヲ目的トスルモノニシテ設立當時ハ專ラ組合員ニ米作改良ノ必要ヲ鼓吹シ其思想ノ普及ニ力メ本年ニ於テハ米作改良實行規則ヲ設ケ逐次害虫ノ驅除豫防及稗及白穂、拔、稻架ノ設備等ヲ獎勵シ成績稍見ルヘキモノアリキ翌年度ヨリハ更ニ實行事項ノ範圍ヲ擴大シ成績優良ナルモノニ對シテ表彰ヲ爲スヘキ計劃アリ

角田村産米改良組合ハ大正二年三月二十六日ノ設立ニ係リ角田村水田所有者耕作者及米穀商人ヲ以テ組織シ以テ同村生産米ノ改良ヲ圖リ併セテ營業上ノ弊害ヲ矯正シテ其利益ヲ増進スルヲ以テ目的トスルモノナリト雖モ設立日淺クシテ何等成績ノ見ルヘキモノナシ

空知外三郡地主會ハ明治四十四年四月廿三日ノ創立ニ係リ空知支廳管内ニ於テ耕地三十町歩以上ヲ所有スル地主ヲ以テ組織シ小作人ノ妥撫獎勵ニ努メ農事改良ノ方法ヲ講究シ併テ産業ノ發達ヲ圖ルヲ以テ目的トナシ設立當年ハ優良小作人十七名ヲ表彰シ本年度ニ在リテハ支廳撰定ノ農事改良特別獎勵事項ノ實行決議ヲ爲シ其逐行ニ努メタル外何等見ルヘキ事業ヲ爲サスト雖モ翌年ニ於テ優良小作人ノ表彰ヲナシ且ツ拔根器ヲ購入シテ各農場ノ根株整理ヲナサントスル計畫アリ

第二 四十五年度中(大正元年度)農事改良上成績顯著ニシテ特

ニ注意ヘスキ事項 ナシ

後志支廳管内

第一 農事獎勵及狀況

イ 農 業

農事ノ改良發達ヲ計ラン爲メ前年ニ繼續シテ輪作ノ實行、施肥撰種病虫害驅除豫防、改良農具及家畜ノ使用等ニ付キ當廳ニテ制定セル産業獎勵方針(後出)ノ下ニ時々吏員ヲ派シ又ハ郡町村農會ヲ督勵シテ之カ指導獎勵ヲナセリ概況左ノ如シ

第一 講習講話

耕耘肥培ノ改善及經濟的措置ノ向上ヲ期スルハ農政上重要事ニ屬スルヲ以テ應用智識ノ向上普及ヲ圖ラン爲メ農藝全般ニ渉ル講習講話會ヲ管内一般農閑ノ季ニ或ハ青年會部落會等ノ會同ヲ利用シ智識ノ普及ニ勉メタリ

講習會 一九回
講話會 五二回

聽講人員 九九九人
二、一二一人

第二 品評會

農産物ヲ一場ニ聚集シ比較研鑽ニ便シ以テ斯業ノ發展ヲ期スルハ素ヨリ効果ノ大ナルモノアルモ寧ロ實際ニ於ケル其地方農業經營ノ狀態ヲ見直接輪作ノ方法ニ施肥ニ品種ノ撰擇ニ其他耕種ノ一般ヲ比較品評シ當業者ヲシテ其長短ヲ自覺セシムル上ニ於テ立毛品評會ハ生産品評會ニ比シ遙ニ効果ノ優レルヨリ努メテ是レカ開催ヲ促セルニヨリ過半ハ是ニ據ルニ至レリ

品評會 九

出品點數 一、六四二

第三 病虫害ノ驅除豫防

病虫害ノ驅除豫防ニ關シテハ常ニ農家ニ警告スル所アリ本期中ハ熱邪、作開、湯別、樽岸、前田、小澤ノ各村ニ苹果害虫發生セルノ外幸ニシテ大ナル被害ナク經過セリ前記各村ニ發生セル害虫ノ驅除ニ付キテハ技術員ヲ派シ驅除豫防ヲ督勵シタル結果殆ント其跡ヲ絶ツニ至レリ

員ヲ派シ驅除豫防ヲ督勵シタル結果殆ント其跡ヲ絶ツニ至レリ

第四 施肥ノ勸奨

地力ノ維持増進ヲ企圖スル上ニ於テ厩肥及堆肥ノ製造獎勵カ緊切ナルヲ以テ郡農會ヲシテ補助規程ヲ設ケシメ補助ヲ與ヘタルモノハヶ所ヲ算スルニ至レリ又狩太村ニ堆肥品評會ヲ開催スル等各地共漸次之カ傾向増進シ來レリ

第五 品種ノ統一

農産物品位ノ改善ハ一ニ種類ノ撰定及種子ノ良否ニ起因スルヲ以テ撰種方法ヲ指示スルト共ニ郡町村農會青年會等ヲシテ種子圃ヲ設ケシメツ、アレハ漸次成績ノ見ルヘキモノアルヲ期待ス

第六 實地指導

實地指導ニハ前項ノ外農産物ノ調製俵裝ノ改良荒蕪地ノ利用等ニ付キ指導セシメタリ

蠶 業

養蠶ハ農家ノ副業トシテ好適スルヨリ漸次發達シ來レリ而シテ管内ハ野桑豐富ナリト雖モ開拓ノ進歩ハ遂次之カ伐採ヲ促カシ桑葉減少セルヲ以テ必スヤ桑園ノ造設ニ俟タサルヘカラス依テ之カ設置ヲ獎勵スルト共ニ桑苗及蠶種ノ改善ヲ勸メ飼育者直接購入スルノ外毎歲多數ノ配付ヲ得テ着々効果ヲ收メツ、アリ因ニ本期中補助ヲ得施設セルモノ左ノ如シ

- 稚蠶共同飼育場 一ヶ所
- 巡回教師補助 二
- 養蠶傳習所 二
- 製糸製綿傳習所 三

模範桑園
機業補助
殺蛹乾燥場

二 一 二

ハ 畜産

農業經營ノ要素トシテ畜産ノ發達ハ隨伴セサルヘカラス然シテ斯業ハ軌近著シク發達セリト雖モ飼養管理ノ粗放ナル配合ノ失宜等幾多改善ヲ要スルモノアリ本年施設セル事業ハ講習會種牡牛馬ノ配置等ニシテ左ノ如シ

第一 講習會

本期中開催セルモノ九ヶ所ニシテ八ヶ所ハ農事講習會ノ一科トシテ畜産ヲ課シ一ヶ所ハ削蹄講習ニシテ共ニ効果大ナリト認ム

第二 種牡牛馬ノ配置

道廳ヨリ貸付ヲ得テ各地ニ優秀種牡牛馬ヲ配置セル外余市南尻別岩内ノ三ヶ所ニ種付所ヲ設ケ長万部種馬所種牡馬ノ出張交尾ヲ施行シ優秀馬匹ノ蕃殖ヲ圖レリ

ニ 其他

虻田郡真狩村ニ於テ産業組合ヲ開催シ組合設立ニ關スル實務講習ヲ爲セリ
後志地主會ニ於テ小作人ノ善行者二十二名ヲ撰拔シ是ヲ表彰セリ小作者ヲ發奮セシメ地主對小作者間ノ和親ヲ圖リ延テ斯業ノ發展ニ裨益スルモノ大ナルヘシ

第二 大正元年度農事改良上成績顯著ニシテ特ニ注意スヘキ事項

- 一、産業ノ改善ヲ圖リテ生産ノ増加ヲ促ス諸般ノ施設獎勵タルヤ確乎タル一定ノ方針ヲ立テ之ヲ遂行スルニアラサレハ得テ望ムヘカラス以テ大正元年十一月産業獎勵方針ヲ確立セリ是ニ依リ施設計畫ヲナシ將來ノ發展ヲ期シ助長行政ノ實ヲ舉ケントス
- 二、農事ノ改良發達ハ協同一致ノ努力ニ待タサルヘカラス之カ爲メ農事ノ講習ヲ受ケタル者ヲ以テ隨所ニ農友會ヲ組織セシメ農事改良ノ中樞トナシ指導誘掖スルハ單ニ農産ノ増進ニ貢獻スルノミナラス農村自治ノ向上ニ至大ノ關係ヲ有スルヲ以テ準則ヲ示セルニ農友會六ヶ所ノ設立ヲ見ルニ至レリ

上川支廳管内

第一 農事獎勵及狀況

イ 農業

管下各地ニ於ケル氣候地味等尤モ農業ニ適スルヲ以テ逐年開拓ノ實績ヲ認メ今ヤ耕地反別九萬有餘町歩ヲ算スルニ至レリ特ニ水田ノ如キ現今二萬有餘町歩ニ達シ尙將來水田見込反別三萬八千有町歩ヲ有スルカ故ニ之ヨリ産出スル物産ノ多大ナルヤ想像ニ難カラサルヘシ
如斯産業ノ富源ヲ主トシテ農業ニ俟タサル可カラサルカ故ニ之レカ改善ニ付テハ官民共致々トシテ止マサル所ニシテ專ラ意ヲ茲ニ傾注スルカ故ニ漸次其ノ實績ヲ認ムルノ狀態ナリトス今左ニ農事ニ關スル指導獎勵ノ大要ヲ示サン

第一 良品種ノ普及

種子ノ良否ハ直接其ノ收量ニ關係ヲ及ホシ農業經營上尤モ肝要ノ事項ニ屬スルモ未タ完全トスル能ハサルハ農事改良上遺憾トスル所ナリトス從來良品種ノ普及ニ付テハ種苗配付規程ニ依リ出願配付ヲ受ケシメ以テ之

レカ普及ヲ圖ルモ一般配付希望者ニ對シ配付スル事能ハサルカ故ニ其他ノ希望者ニ對シテハ郡町村農會ヲ指導シテ適宜種子ノ配付方法ヲ講セシメ以テ之レカ普及ニ努メリ即チ各農會ニ於テ配付スル種子ハ孰レモ種苗圃ヨリ收穫セル種子若クハ購入若クハ交換ノ種子ナルヲ以テ漸次實績ヲ舉クルニ至レリ水稻麥類ノ如キハ其效果ヲ認ムルニ至リタルハ喜ハシキ現象ナリトス

第二 厩肥及堆肥ノ製造使用獎勵

開墾ノ日尙ホ淺ク天然ノ肥力保持スル地方ニアリテハ一般無肥料耕作スルヲ常トスルモノ多キモ連年耕作ノ結果ハ漸次地方ヲ減耗シ隨テ收量ノ減收ハ免ル能ハサルヤ明カニシテ既ニ之レカ必要ニ迫リツ、アル地點少ナリトセス故ニ是等肥料ノ製造使用ニ付テハ前年來繼續事業トシテ指導獎勵ニ努メ逐年製造及使用者ヲ增加スルノ傾向ナリトス而シテ上川外三郡農會ニ於テハ特ニ之レニ關スル補助規定ヲ設ケ堆肥ノ製造者ニ對シ一ヶ所十圓以内ノ金額ヲ交付スル等該會ノ斯業獎勵ノ爲メ意ヲ注クヤ切ニシテ逐年補助出願者ノ數ヲ増加スルノ状態ナリトス

第三 害虫驅除豫防

從來病虫害ノ驅除豫防ニ付テハ一般當業者カ嫌厭スルノ傾キヲ有シ從テ害虫發生ニ際シテモ驅除豫防實施等極メテ困難ナリシカ毎年講習、講話會其他實地指導等ニ於テ之レニ關スル智識ノ普及ニ努タル結果ハ稍々其効果ヲ認ムルニ至ルノ狀況ニシテ黑穗豫防ノ如キ年々豫防ノ數量ヲ増シ漸次成績ノ見ルヘキモノ少シトセス大正元年中ハ士別村外二ヶ村ニ於テ馬鈴薯其他小麥ニ對シ病虫害ノ發生セシモ驅除豫防時機ヲ失セサリト一ツハ當業者カ確實ニ驅除豫防ニ努メタルカ爲メ幸ニシテ被害甚大ナルニ至ラス完全ニ其ノ目的ヲ達スルニ至レリ今左ニ客年中ニ於ケル害虫發生ノ狀況黑穗豫防實施町村及日割ヲ示セハ次ノ如シ

害虫被害調

町村別	被種物	同上見積反別	平年收穫高	被害減收見積反別	害虫名	驅除豫防實施期日
士別村	馬鈴薯	六町	112,000	二町	馬鈴薯病疫	自八月廿四日
愛別村	同	114,000	44,000	三町	同	自八月廿七日
南富良野村	豌豆	110,000	110,000	六町	夜盜虫	自八月廿六日

黑穗豫防實施調

町村別	實施業項	日	割	備	考
上富良野村	病虫害ノ豫防撰種實施	自四月十五日	四日間		
下富良野村	同	自四月十九日	四日間		
多寄村	同	自四月十八日	四日間		
上名寄村	同	自四月二十二日	四日間		
下名寄村	同	自四月二十六日	四日間		

以上

第四 農事講習講話

前述ノ通り農事ノ改善發達ニ付テハ從來指導獎勵忘リナキモ要スルニ斯業ノ改喜ハ一般當業者ニ對シ之レニ關スル智識ヲ普及スルハ極メテ肝要ナルカ故ニ豫メ前年中ニ於テ之レカ計畫ヲ確立シ農家閑散ナル時機ハ

冬季間ニ於テ農事ニ關スル講習講話會ヲ開催セシメ以テ之レカ智識ノ普及ニ努メツ、アルノ狀況ニシテ年々開催ノ數ヲ増加シ尙ホ且ツ講習生及聽講者亦相當學力ヲ有スルト共ニ熱心ニ聽講スル等其ノ成績良好ナリトス左ニ大正元年中ニ於ケル開催ノケ所及期間ヲ示サン

町村別	主催者	日	割	備	考
愛別村	郡農會主催	自一月十七日	七日間		
當麻村	同	自一月二十五日	七日間		
劍淵村	同	自一月二十九日	七日間		
士別村	同	自二月三日	七日間		
多寄村	同	自二月七日	七日間		
上名寄村	同	自二月十一日	七日間		
下名寄村	同	自二月十五日	七日間		
神居村	同	自二月十九日	七日間		
美瑛村	同	自二月廿三日	七日間		
上富良野村	同	自二月廿七日	七日間		
下富良野村	同	自三月一日	七日間		

町村別	主催者	日	割	備	考
當麻村	村農會主催	自一月十三日	二日間		
劍淵村	同	自一月十六日	五日間		
士別村	同	自一月十八日	八日間		
多寄村	同	自一月廿一日	五日間		
上名寄村	同	自一月廿四日	六日間		
下名寄村	同	自一月廿七日	四日間		
神樂村	同	自一月三十日	二日間		
美瑛村	同	自二月二日	二日間		
上富良野村	同	自二月五日	二日間		
下富良野村	同	自二月八日	二日間		

第五 立毛品評會

立毛品評會ハ當業者カ栽培シタル作物ニ付キ實地ニ管理施肥等ニ關スル指導ヲ受クルカ故ニ當業者ハ競フテ出品スルニ至リ年々開催ノ數ヲ増加スルノ狀況ナリ即チ大正元年中ハ左記ノ通り鷹栖村外十三ヶ村ニ於テ開催セシカ四十四年ニ比シ五ヶ所四十二年ニ比シ九ヶ所ノ増加ニシテ斯業ニ付テハ特ニ上川外三郡農會ニ於テ補助規程ヲ設ケ夫々補助金ヲ交付シテ指導獎勵ニ努メツ、アル等從テ其成績ノ見ルヘキモノ尠ナリトセス

立毛品評會	主 催 者	開 催 月 日	備 考
立毛品評會	劍淵村農會	自七月二十五日	
同	愛別村農會	自七月二十五日	
同	上富良野村農會	自七月二十五日	
同	下富良野村農會	自七月二十五日	
同	士別村農會	自七月二十六日	
同	上名寄村農會	自七月二十六日	
同	下名寄村農會	自八月十一日	
同	東旭川村農會	自八月十一日	
同	東川村農會	自八月十一日	
同	鷹栖村農會	自八月十三日	
同	永山村農會	自八月十三日	
同	當麻村農會	自八月十四日	
同	比布村農會	自八月十四日	
同	多寄村農會	自八月十四日	
同	東旭川村農會	自八月十四日	
農產品評會			

蠶業

蠶業ハ管下各地共之レカ飼養ニ適應スルカ故ニ從來指導獎勵ニ怠リナキモ未タ豫期ノ成績ヲ見ル能ハサルハ遺憾ナリトス乍然多年幾何ノ飼養ノ戸數ヲ増加シタルモノニシテ多少ノ効果ヲ見ルヘキモノアラン元來斯業ハ一ツノ技術ヲ要シ且ツ飼養ノ方法等各府縣ト異ナル點アルカ故ニ發達ノ遲々トシテ振ハサルニアラサルナキヤ斯業ハ専ラ農家ノ副業トシテ極メテ適切ノ事業ニ屬シ銳意獎勵ノ必要ヲ認ムルカ故ニ毎年上川外三郡農會ヲ督勵シテ主要地ニ簡易養蠶傳習所ヲ設置シテ之レカ普及ニ努メ且ツ生産者カ收得セル繭ニ付テハ販賣ノ方法ヲ講シ客年中ハ東旭川村及永山村臨時市場ヲ設ケシメ以テ確實ニ取引セシムル等効果尠少ナリトセス

畜産

牧畜ハ農業ト最モ密接ノ關係ヲ有スルカ故ニ兩者相俟テ之レカ改善ニ資セサル可カラサルヤ他言ヲ要セサルモ斯業ノ農業ニ比シ遲々トシテ振ハサルヤ明カナル事實ナリトス而シテ斯業ニ關スル指導獎勵ニ付テハ元ヨリ講習講話會ヲ開催シテ智識ノ普及ニ努ムルモ尙ホ他ニ施設經營スヘキ事業少トセズ即チ客年中ハ上川産業組合ハ督勵シテ上川常設家畜市場ヲ設置セシメ以テ牛馬ノ賣買交換ヲ確實ニスルノ方法ヲ講シ該市場ノ指定區域以外ニ於テハ劍淵村及美瑛村二ヶ村ニ於テ臨時家畜市場ヲ設ケ斯業ノ發展ニ努メシモ然シ孰レモ日尙淺ク一般當業者カ其効果ヲ了スルニ至ラサルカ故ニ成績トシテ特ニ見ルヘキモノナキモ今後指導掖誘ノ結果ハ漸次好果ヲ收ムルニ至ルヤ必セリ其他從來行ハレツ、アル牛馬畜ノ惡弊ニ付テハ斯業ノ發展上之レカ矯正ノ必要ヲ認メツ、アルカ故ニ客年來當業者ハ指導シテ組合規約ヲ設ケシメ以テ之レカ勵行ニ努メ今ヤ旭川町

牛馬商組合規約ノ外更ニ二組ヲ設置スルニ至レリ

二 其 他

副業獎勵

副業ハ農家經濟ノ發達ヲ計ル上ニ於テ最モ適切事業ニ屬スルヤ明カナリトス特ニ耕作反別狹少ニ失シ一家ノ經濟ヲ維持スルニ足ラサルモノ、如キハ極メテ之レカ必要ヲ認ムルカ故ニ如上ノ如ク蠶業牧畜類一般當業者ニ對シ指導意リナキモ未タ完全ナル域ニ達セス今同尙ホ進シテ之レカ改善指導ニ努メサルヘカラサルノ狀態ナリトス今左ニ副業ニ關スル其他ノ事項ニ付事業ノ大要ヲ示サン

第一 木 炭

管下各地ノ發展ニ伴ヒ木炭ノ需用増加スルニ從ヒ農家カ副業トシテ製炭ニ從事スルモノ漸次其ノ數ヲ増シ中ニモ劔淵村及上富良野村ノ如キ木炭ノ產出極メテ多大ナリトス而シテ從來各地ニ於テ製出セル木炭ハ品質其結果ハ毎年改良ノ產出ヲ増加シ一般當業者カ改良炭ノ製出ニ努ムルノ傾向ヲ示シタルハ喜ハシキ現象ニシテ客年中ハ上下各富良野村及劔淵鷹栖村ノ四ヶ村ニ於テ講習會ヲ開催スルニ至レリ

第二 澱 粉

澱粉ハ近ク兩三年前以前ヨリ長大ノ進步ヲ爲シ今ヤ内地各府縣ニ移出スルニ至リシモ一般當業者カ粗製濫造ニ流レ同市場ニ於ケル聲價ハ墮落スルニ至リタル等斯業改善ハ目前ノ焦眉ニ迫リタルカ故ニ去ル四十三年以來同業組合ヲ設立シ指導獎勵シタル結果上川及天鹽カ同業組合ノ設立スルニ至リ製品検査ノ勵行ニ努メタル共ニ販路擴張ヲ圖リ今ヤ直接大阪、橫濱、各市場ト取引スルニ至リシ等斯業ノ發展ニ資スル多大ナリトス其他糞細工ノ如キ家庭的ノ工業ノ如キハ原料ノ產出豐富ナルカ故ニ麵、俵、等需用者ノ嗜好ニ應シ產出スル

事ヲ得ヘク且ツ價格ノ如キモ内地ノ輸入品ヨリ廉價ナルヲ以テ多少好評アルモ改善ヲ要スヘキ點尠少ナリトセス殊ニ米其他雜穀ノ俵裝ニ付テハ之レカ改善目前ノ焦眉ニ迫リツツアルノ狀態ナルカ故ニ銳意之レカ指導ニ努メタリ

第三 產 業 組 合

產業組合ハ農家經濟ノ發達ヲ計ル上ニ於テ尤モ適切ノ事業タルヤ明カナリトス殊ニ管下各地ノ如キ地味肥沃ニシテ農家ノ土着心ニ富メル地方ノ如キハ之レカ効果著大ニシテ指導獎勵ノ必要ヲ認ムルカ故ニ去ル四十四年以來極力指導獎勵ノ結果ハ一般之レカ必要ヲ認メ今ヤ永山信用組合ノ外更ニ七組合ヲ組織スルニ至レリ從テ一般組合員カ鞏固ナルカ故ニ今後漸次活動ノ域ニ進ムヤ期シテ待ツヘキノミ

設 立 年 月 日	組 合 名
四十四年 四月 二十四日	有限責任永山信用組合
三十七年 五月 十四日	無限責任下富良野販賣購買組合
四十三年 十月 十日	無限責任比布販賣購買組合
四十四年 六月 六日	無限責任曙信用組合
四十四年 六月 十八日	無限責任當麻信用組合
四十五年 六月 二十二日	無限責任東旭川販賣購買組合
大正二年 二月 九日	無限責任名寄信用組合
大正二年 九月 十五日	無限責任名寄十八線信用組合

以 上

檜山支廳管内

第一 農事獎勵及狀況

イ 農業

第一 稻田ノ施設

勸業行政ノ基礎ヲ強固ナラシメ産業ノ發展ヲ計ラント欲セハ先ツ水田開發ノ急務ナルヲ認ム今ヤ管内ハ漸次水田開發セラレ既ニ千二百七十三町有餘ヲ有シ其收量一萬四千七百七十餘石ヲ産スルト雖トモ年々五万石ノ輸入ヲ見ル然ルニ飜テ考フルニ管内ニ於テ米作ノ最適ナルハ掩フヘカラサル事實ニシテ將來水田開發見込地五十町歩以上ノ個所ハ二十二ヶ所其ノ面積二千九百六十五町此外一區域五十町歩ニ滿タサルモノ五百町歩有スルヲ以テ之レカ發達ハ地方ノ消長ニ關シ故ニ數年前ヨリ之レカ施設ヲ獎勵セラレタルニ近來ニ至リ之ニ着手スルモノ一時ニ増加セラレ殊ニ瀨棚郡地方檜山郡厚澤部村地方最モ顯著ナルモノトス

第二 優良品種ノ普及

農作物ノ品種ハ往々雜駁ニシテ見ルヘキモノ少ナキヲ以テ良品種ノ普及ヲ圖ル目的ヲ以テ種苗配付規則ニヨリ配付セラル、モノ、外各郡町村農會等ヲシテ購入配付セシメ或ハ之ヲ栽培收穫後配付ヲナサレム

第三 雜穀類ノ品種ノ一定

雜穀類ハ主ニ内地々方ニ輸出セラル、モノ多キヲ以テ之レカ品種ノ不統一ハ之レカ市價ヲ減殺セラル、コト頗ル大ナルヲ以テ之レカ栽培ニ際シテハ充分之レニ注意セシメ其地方ノ狀況土質氣候等ヲ參酌シ可成同一品種ノ栽培ヲ計ラシム

第四 輪作

農作物連作ノ大害ハ獨リ其生産力ヲ減少セシムルノミナラス病虫害等ノタメ收量ヲ減スルハ既ニ認ムル所ナレトモ農民ハ舊來ノ習慣ヲト守スルモノ往々アリ現ニ瀨棚太極兩郡ニ於テ大豆連作ノ結果年々其收量ヲ減シアルヲ以テ輪作ノ急務ナルヲ認メ數年前ヨリ年々之レカ輪作ノ獎勵ヲナス

第五 厩肥堆肥ノ製造

舊來ノ粗放農業ヲ夢ミ肥料ヲ用フルノ念ニ乏シク年々其地力ヲ減毫シ收量ヲ減スルモ顧ミルモノナク稀ニ施肥スルモノアルモ之レヲ全部ニ用フルコト能ハス水稻其他蔬菜等ニ用フルニ過キス之レ畢竟肥料製造ノ智識ニ乏キシヲ認メ之レカ製造獎勵ヲナス瀨棚太極郡農會ニ於テハ前年ヨリ引續キ第二回堆肥品評會ヲ開催セシメ其ノ改良ニ努ム

第六 改良農具ノ普及

管内農業ハ耕作地割合ニ多ク春期ハ一時ニ農耕播種等ニ多忙ヲ極メ著シク勞力ニ缺乏ヲ來シノ虞アルヲ以テ改良農具ノ普及ハ肝要ナルヲ認メ厚澤部村ニ於テ競掣會ヲ開催セシメ其他品評會等ニ賞品トシテハ勉メテ改良農具ノ給與ヲナス等獎勵セラレタル結果漸次之レヲ使用スルモノ増加セリ

第七 果樹其他ノ栽培

當地方ハ山岳ニ富ミ農耕不適ノ地少ナカラザルヲ以テ土地ノ利用上果樹栽培造林桐樹ノ栽培等獎勵セシニ苹果、梨樹、桐樹ノ如キハ著シク其ノ栽培者ヲ増加セリ

第八 病虫害驅除豫防

病虫害驅除豫防ニ付テハ年々之レカ獎勵ニ怠リナク之レカ發生ニ際シテハ機ヲ逸セス直ニ驅除ヲ行ハシム又驅除ノ方法トシテハ町村農會等ニ於テ害虫ノ買上ケヲ行ハシム其効果顯著ナルモノアルヲ認ム

ロ 蠶業

第一 桑園ノ設置
 養蠶ノ獎勵ハ一ニ桑園ノ増設ヲ計ルニアルヲ以テ補助桑園ノ設置模範桑園桑園親木圃ノ設置等ニ獎勵ヲ加フ
 第二 稚蠶共同飼育
 蠶兒掃立ノ時季ハ農耕又繁忙ノ時期ナルヲ以テ各家掃立ハ甚タ困難ナルヲ以テ稚蠶共同飼育場ノ獎勵ヲナセ
 リ

ハ 畜 産

第一 牛馬ノ改良
 産牛馬組合及町村長ヲ督勵シ優等牡馬ノ貸付ヲ受ケシメ生産駒ニ對シテハ檜山爾志産牛馬組合瀬棚外三郡産
 牛馬組合等ヲシテ家畜市場ノ開催ヲナサシムル等之レカ改良ニ努ム
 第二 馬 匹 去 勢
 畜産改良上馬匹去勢ノ勵行ハ最モ有力ナルモノナルモ兎角舊來ノ習慣上之レヲ忌避スルモノ多ク大正元年度
 ニ於テハ之レニ應スルモノナキハ遺憾トス

ニ 其 他

第一 産業視員ノ派遣
 農民ノ智識開發舊慣打破ノ目的ヲ以テ産業視察團ヲ組織シテ管外視察ヲナサシム
 第二 部落品評會ノ開催
 管内ノ如キ交通不便ノ土地ニアリテハ規模大ナル品評會ヨリ部落品評會ノ有利ナルヲ認メ各町村或ハ農會ヲ
 督勵シテ部落品評會ノ開催ヲ獎勵ス

第三 農業智識ノ普及

農業ノ發達ハ其農民智識ノ開發ニアルハ言ヲ俟タサル所ナルヲ以テ講習講話會ノ開催ヲ獎勵ス
 以上

函館支廳管内

第一 農事獎勵及狀況

イ 農 業

普通農業獎勵ニ關シテハ既定ノ勸業方針ノ下ニ町村及郡町村農會ヲ督勵シ試驗場及農區駐在員ト協力從事シ
 來レルハ勿論其獎勵方法ヲ同一方針ノ下ニ定メ互ニ相提携シテ之ヲ實行センコトヲ有シ年度初メニ於テ農事
 協議會ヲ開農シ各關係員ト會合ノ上其年度内ニ於ケル獎勵事項及改良方法等ヲ定メ更ニ之レヲ町村及下級農
 會ニ移シ獎勵ヲ加ヘ來レリ

第一 講習及講話會

講話會ハ郡町村農會主トシテ其任ニ當リ農區駐在員ト共ニ開催スルヲ例トシ農村一般ニ涉リ遺憾ナク實行セ
 ラルハヲ認ム然シテ講習會ヲ開催シタルハ落部村長万部村ニシテ其成績概シテ良好一般ニ選種施肥耕作方法
 病虫驅除豫防ヲ實行スル傾向ヲ來シ漸次改良ニ趣クモノ、如シ

第二 種 苗 配 付

道廳ヨリ配付セラル、種子ヲ特ニ種苗圃ヲ設定シテ配付ヲ行ヒタルモノ福山町木古内村ノ二町村農會ニシテ
 成績良好ナリ農産種子ノ改善ハ本道農産物ノ品質改良ト增收ヲ圖ル上ニ於テ刻下管内農事改良上緊要ナル事
 項ニ屬ス故ニ道廳ヨリ配付セラル、原種モ汎ク一般農村ニ普及セシメンコトヲ期シ獎勵スルトコトアルモ其

配付數量ニ限リアリ出願人員及數量ニ比シ甚タ尠キヲ遺憾トス然レトモ可及的其出願ヲ獎勵シ規定ノ出願期
日前豫メ一般ニ注意ヲ與ヘ優良品種ノ普及ニ努メ來レリ

第三 品評會ノ開催

優良品種ノ普及調製ノ完美耕種肥培ノ術ニ於テ將又農業經營ノ方法ニ於テ之レカ獎勵策トシテ開催ヲ勸誘シ
タルノ結果年次其數ヲ増加シタリ其開催セルモノヲ舉クレハ左ノ如シ

木古内村	(大豆、立毛品評會)(農產品評會)
上磯村	(苗代及稻作立毛品評會)
大野村	(苗代及稻作立毛第六回品評會)(園藝品評會)
湯川村	(水稻立毛品評會)
尾札部村	(馬鈴薯立毛品評會)
落部村	(第六回農產品評會)
長万部村	(農產品評會)
七飯村	(稻作、麥、馬鈴薯、立毛品評會)
龜田村	(稻作立毛品評會)
八雲村	(第二回物産共進會)
芽部山越郡農會	(畑立毛品評會)
龜田上磯郡農會	(農產品評會)

第四 厩肥及堆肥

地力漸ク減耗セルヲ以テ極力獎勵ニ努ムルモ一般ニ肥料ニ對スル觀念ニ薄ク未タ普及ニ至ラサルヲ遺憾トス

然レトモ獎勵ノ結果逐年増加ノ傾向ヲ來シ良好ナル現象ヲ呈シ來レリ而シテ堆肥品評會ヲ開催シテ獎勵ニ努
ムルハ大野村農會、龜田、上磯郡農會、八雲村大新農業組合ニシテ結果良好ナリ

第五 早稻栽培ノ獎勵

早稻栽培ノ有利ヲ説キ極力其獎勵ニ努メ來レリ殊ニ本年ノ如キ天候冷凉ニシテ不順ナルニ鑑ミ今後該栽培者
ヲ増加スルノ傾向アルヲ以テ水田反別五割以上ニ達セシムル見込ヲ以テ種子ノ購入講話其他適應ノ方法ヲ以
テ獎勵セリ

第六 病虫害ノ驅除豫防勵行

一般ニ農家ニ此ノ觀念薄ク等閑ニ付シタルモ近時之レカ忽ニスヘカラサルヲ知り實行スル者稍多キニ至レリ
殊ニ水田泥負虫ニ對シテハ命令ヲ發布シ之ヲ勵行シ以テ該思想ノ向上ヲ促セリ

第七 改良農具使用

農家經濟上及勞力分配上改良農具ノ使用ハ最モ必要ナルヲ認メ爾來獎勵ヲ怠ラス今ヤ新墾地ハ勿論既墾地ニ
アリテモ漸次改良農具ノ使用増加スルノ傾向アリ殊ニ龜田郡七飯村ニアリテハ馬耕獎勵規程ヲ設ケ村費ヲ以
テ農具ヲ購入シ之レヲ農家ニ貸與シ獎勵ノ結果同年度ニ於テ申込購入シタルモノブラオ、ハロー合シテ三十
二臺ニシテ獎勵金ヲ交付シタルモノ十六名ニ達シタルカ如キ稍向上ノ氣勢ヲ示スニ至レリ

第八 苗代改良

通苗代ノ廢止ハ從來獎勵シタルモ因襲ノ久シキ容易ニ減少ノ模様ナシ然レトモ龜田村ニ於テハ漸次減少スル
ニ至レルヲ以テ從テ他地方ニ普及スルニ到ルヘキヲ信ス

第九 輪作

年々獎勵ノ結果未タ全ク普及セサルモ漸ク實行スルモノ多キヲ認ム現ニ八雲村ノ如キハ良好ナル成績ヲ收ム
ルヲ以テ尙一層之ヲ獎勵シ一般農村ニ普及セシメントス

第一〇 麥作獎勵
米價騰貴ニ伴フ自家食料品タルヘキ麥作ノ獎勵ハ講話ニ各種ノ會合ニ將又品評會等ニ於テ獎勵ノ結果稍良好ニ趣キ耕作反別ヲ増加シ殊ニ近時他作物ニ比シ比較的少ナキヲ以テ今後益増加ノ傾向アリ

第一 養蠶

前年ノ絲價下落ハ本業ニ一頓挫ヲ來シ年々飼育者ヲ減スルニ至リタルヲ遺憾トス獎勵方法トシテハ桑苗ノ無代配付、桑園造成、成模範桑園、繭共同販賣、生繭共同乾燥場、簡易傳習所、稚蠶共同飼育場等アルモ其數少ク豫期ノ目的ニ達セス

ハ 畜産

馬匹及畜牛ノ改良蕃殖、養鶏豚業ニシテ獎勵方法トシテハ講習講話會開催ニシテ智識ノ啓發ニ努メ毎年牛馬共進會ヲ連續開催シテ改良ヲ促進シ又タ産牛馬組合ノ増設ヲ勸誘スルト共ニ種苗ノ充實ヲ計ラシメ蕃殖上相當勸奨ヲ加ヘ來レリ尙製酪業ノ發達ニ關シテハ前途有望ナルヲ認メ相當保護ヲ加フルト共ニ諸般便宜ヲ與ヘ製酪者ト飼牛者トノ連絡ヲ計リ以テ斯業ノ振興ニ努力セリ

ホ 其他

第二 四十五年度中(大正元年)農事改良上成績顯著ニシテ
特ニ注意スヘキ事項
該當事項ナシ

室蘭支廳管内

第一 農事獎勵及狀況

イ 農業

管内農事獎勵ニ關シテハ從來ノ方針ニ基キ事業豫定計畫ヲ立テ當廳技手並ニ郡農會技術員ヲシテ之レカ指導獎勵ヲナサシメタリ

明治四十五年 度月次行事
大正元年

月次	種別	施設事業及指導項目梗概	指導町村部落其他
四月	月	水稻栽培、種苗畑、模範作、水稻籾水撰、各種作物撰種苗	伊達、白老、壯警、虹田、舞邊、鷓川、厚真、安平、似瀨、輪西、其他各村
五月	月	代管理、部落講話、丘墾犁普及	厚真、安平、鷓川、伊達、壯警、似瀨、其他各村
六月	月	模範作及試作ニ關スル注意、病虫害驅除豫防、水稻移植、	管内一般
七月	月	苹果、袋掛、水稻本田管理、中耕、培土、立毛審査	視察員ハ萬農者三名郡農會技術員一名トス
八月	月	立毛審査、他管内農事視察、夏作物收穫調製	管内一般
九月	月	水田稗拔取、立毛審査、秋作物播種、收穫調製、農產品評會	管内一般
十月	月	農事講習會及講話會	壯警、伊達、虹田、厚真、
十一月	月	苹果剪定整枝	管内一般
十二月	月		管内一般

第七 農事講習會	
開催地村名	會場
厚真川	三
似灣	三
蛇田	三
辨邊	三
計	三
厚真川	三
似灣	三
蛇田	三
辨邊	三
計	三
厚真川	三
似灣	三
蛇田	三
辨邊	三
計	三

管内伊達、蛇田、辨邊ノ各村ニ於テハ從來ノ方針ニヨリ本年度モ農事講習會ヲ開催セシニ何レモ聽講者ハ豫定人員以上ニ達シ斯業改善發達ノ觀念ヲ喚起セシメタリ之レカ成績ヲ示セハ左ノ如シ

第八 農事講習會	
開催地村名	會場
伊達村大字長流村	三
蛇田村字向洞爺	三
辨邊村字小花井	三
計	三
伊達村大字長流村	三
蛇田村字向洞爺	三
辨邊村字小花井	三
計	三

農事講習會ヲ開催セシハ左記各村ニシテ何レモ豫期ノ成績ヲ收メタルモノト認メラル

開催村名	開催期間	聽講人員	講話ノ要領
厚真川	三	一〇七	一
似灣	三	一〇七	一
蛇田	三	一〇七	一
辨邊	三	一〇七	一
計	三	一〇七	一

郡別	桑畑反別	計	飼育戸數	春收量	夏收量	合計
厚真川	三	三	一四一	二七七	二七七	二七七
似灣	三	三	二七七	二七七	二七七	二七七
蛇田	三	三	二七七	二七七	二七七	二七七
壯警	三	三	二七七	二七七	二七七	二七七
輪西	三	三	二七七	二七七	二七七	二七七
幌別	三	三	二七七	二七七	二七七	二七七
白老	三	三	二七七	二七七	二七七	二七七
苦小	三	三	二七七	二七七	二七七	二七七
計	三	三	二七七	二七七	二七七	二七七

蠶業

前年ニ引續キ桑園設置、稚蠶共同飼育蠶業講習會等ノ事業ニヨリ極力獎勵ヲナシタル結果本年度ニ於ケル成績ヲ示セハ左ノ如シ

郡別	桑畑反別	計	飼育戸數	春收量	夏收量	合計
室蘭	三	三	一四一	二七七	二七七	二七七
有珠	三	三	二七七	二七七	二七七	二七七
蛇田	三	三	二七七	二七七	二七七	二七七
幌別	三	三	二七七	二七七	二七七	二七七
白老	三	三	二七七	二七七	二七七	二七七
計	三	三	二七七	二七七	二七七	二七七

作物品種ノ改良、肥料、農具ノ改良、病虫害ノ防除、家畜ノ増飼、飼料作物ノ栽培、副業ノ獎勵、吹貫納屋ノ設置植樹ノ獎勵

勇	三、三、〇〇〇	五、〇、〇、七、七、七	六、二	六、二、六、〇〇	五、七	六、一	三、三、〇〇〇	六、二、六、〇〇
拂	三、一、八、〇〇	三、三、三、一、六、〇、七、七	〇〇〇	三、七、七、〇〇	三、七	三、七	三、三、〇〇〇	三、三、〇〇〇
計								

ハ 畜 産

當管内ハ地勢氣候風土等家畜ノ生産育成ニ恰適セルヲ以テ之レカ獎勵機關トシテ明治二十年頃ヨリ産牛馬組合ヲ設置シ種畜ノ種付家畜市場等ヲ開催シテ生産者ニ便益ヲ與ヘ或ハ郡農會ノ事業トシテ羊豚家禽ノ増飼ヲ獎勵シ農閑ノ際ニハ畜産削蹄講習會講話會ヲ開催シ極力當業者ヲ指導誘掖シツ、アリ今年度ニ於テ成績ヲ示セハ左表ノ如シ

明治四十五年種牡馬種付成績表

郡 別	供用種牡馬ノ頭數	本年種付蕃殖牝馬ノ頭數	本年種付蕃殖牝馬ノ頭數	本年種付蕃殖牝馬ノ頭數	備 考
室蘭	二	一四四	二六〇	八三	一六三
有珠	二	三六五	二二	一四四	三九五
虻田	四	七三	一三三	五六	一一七
幌別	一	六	一四六	四五	八〇
白老	一	五	二	二	四
勇拂	三	六〇	九七三	二七	三六
計	六	一、〇〇九	二、二二二	七三	一、三四一

一、大正元年度臨時家畜市場成績表

開催地名	出場頭數	賣却頭數	同上價格	最高	最低	平均	摘 要
輪西	三	八	二九六、〇〇〇	七一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	五七、〇〇〇	
西紋	八	二	二五、〇〇〇	—	—	—	
登別	五	三	一、一、二、〇〇〇	一一〇、〇〇〇	一三、〇〇〇	四七、八〇〇	
苫小牧	五	三	一、〇、〇〇〇	七一、〇〇〇	五、〇〇〇	三七、一七〇	
早來	一	一	四、九、六、〇〇	三三〇、〇〇〇	六、〇〇〇	四四、〇〇〇	
川計	二〇	一三	六、一、三、〇〇〇	一、五、〇〇〇	七、〇〇〇	四六、一一〇	
合 計	五〇	三九	一四、五、一、〇〇〇	二、〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇	四四、三三〇	

本表ニヨリ前年ノ成績ト對照比較スルニ賣却頭數ハ百七十五頭ヲ増シ同價格ニ於テ八千四百四十一圓ノ増加セラルヲ見ル

第二 四十五年度中(大正元年)農事改良上成績顯著ニシテ特ニ 注意スヘキ事項

該當事項ナシ

浦河支廳管内

第一 農事獎勵及狀況

イ 農 業

第一 獎勵方法

前年度ニ於テ北海ノ農友日高號ヲ發行シ農事林業牧畜其他一般農業ニ關シ經營管理ノ方法ヲ評述記録シ町村當事者及町村農會並ニ老農先覺ノ士ニ配付シ農事ノ改良刷新ヲ計リタリ本年度ニ在テハ該記録ノ實行ニ努メ專ラ町村長戸長ヲ督勵シ町村當業者ノ奮興ヲ期待シ加之一月勿々町村農會長會議ヲ開キ叙上列項ノ獎勵方針ヲ樹立シ專心一意實行ヲ促シタリ町村當局者及農會長等ハ地方老農ト議シ有志ト諮リ只管其施設ニ遅レサランコトヲ期シ又郡農會技術員出張ニ際シ若シクハ集會機ヲ利用シ本職若クハ吏員出張シ唱導勸奨ヲ盡セリ其各項ニ於ケル獎勵方法ヲ舉クレハ左ノ如シ

第二 種苗畑ノ經營

種苗ノ良否ハ管ニ生産品ノ良否ニ關スルノミナラス其粗惡ハ實ニ收量ヲ減少シ市價ヲ低廉スル所ニシテ管内產物ノ常ニ市場ニ於テ他産ニ驅逐セラレ特ニ從來品種雜駁混淆シ商品トシテ價值鮮少ナリシカハ純良品種ノ普及ヲ計リ品種ノ統一ヲ期待スルハ農事改良上第一要義タルヲ認メ昨年度以來種苗畑ヲ各町村ニ設置セシメ純良品種ノ普及ヲ期圖セリ然レトモ從來種苗畑ハ單ニ二三作物ニ局限セラレ地積僅少ニシテ往々試驗畑模範畑ノ性ヲ脱却スルコト能ハサリシカ本年ハ町村當局者並ニ農會當事者ニ說示シ管内重要作物ヲ播種シ且ツ其地積ヲ擴大シ三ヶ年ニ純良品種子全圃ニ普及ノ方針ヲ採リ專ラ該種子ノ生産ヲ以テ目的トナシタリ種子ハ郡農會模範畑生産品及道廳ヨリ交附ヲ受ケ尙ホ不足ノモノハ道内各地ノ優良品ヲ蒐集シ供用シタリ

第三 水田ノ開發

四十三年以來道廳外賀事業手其他巡回教師等ヲ依囑シ管内水田適地ノ調査ヲ爲シ前年度ニ於テ略實查ヲ終リ六千餘町歩ヲ得タルヲ以テ本年度ニ於テハ是レカ實施シ計畫ヲ定メ町村長戸長ヲシテ其ノ施行ノ勸奨ニ當ラシムルト共ニ集會ノ折衆庶ニ對シ直接實施ノ誘導ヲ爲シタリ而シテ管内溪流多ク灌溉ノ便ニ富ムヲ以テ各地水田開發ノ機運熟セリト雖モ設計測量上技術員ニ乏シキヲ以テ隨意ニ企劃實行スル能ハス徒ニ氣運ヲ阻止ス

ルノ傾アルヲ認メ本年ハ更ニ日高實業協會並ニ郡農會ト協定シ技術員ヲ雇聘シ要望ニ應シ隨時實測設計ヲ爲シ得ルノ途ヲ講シ明年度ニ於テハ地主ノ勸奨ニ一層力ヲ傾注シ圃場ノ適地ヲ撰定シ急遽水田開發ヲ爲サントス

第四 病虫害驅除豫防 輪作施肥輪牧

病虫害驅除豫防ハ農事ト一緊要事ニシテ從來其實行ヲ策勵シタリト雖モ未タ以テ一般當業者ノ注意ヲ喚起スルニ到ラザリシニヨリ本年ハ特ニ町村當事者ニ訓諭示達スルト共ニ町村農會長ニ說示シ又技術員並吏員出張ノ都度當業者ヲ激勵シタリ特ニ七月病虫害發生季ニ在リテハ郡農會技術員二名ヲ巡行セシメ豫防制遏ニ努ムルト共ニ驅除ヲ圖ラシム輪作ニ在リテハ荳菽類連作ニ伴ヒ病虫害ヲ發生シ時ニ減收凶歉ヲ招クヲ以テ嚴ニ其利害得失ヲ詳述シ當業者ニ注意スルト共ニ町村當局者ニシテ播種期前一般部民ニ諭示セシム又施肥ハ農作上直接ノ効果アリ農村當業者自覺スルト雖モ未タ以テ全圃ニ普及セサルヲ以テ町村當局者ハ勿論本職並ニ吏員出張ニ際シ部民ノ集會ヲ機トシテ之レカ實施ヲ唱導セリ

第五 牧草栽培

從來管内牧畜業ハ地積ノ廣汎ナルニ任セ小野ニ放牧シ敢テ顧慮セサリシニ逐年拓地殖民ノ實進捗シ今ヤ漸ク放牧地狹少トナリ加ナルニ馬匹改良ト共ニ周年放牧ニ適セサルモノ多ク野草ハ以テ飼畜上豐富ナラサルニ到レリ牧草栽培ハ牧畜上最モ緊要ニシテ飼畜經濟上適切ナルモノアルヲ認メ從來牧草栽培ヲ獎勵シタリ然レトモ口舌ノ獎勵ハ其ノ事例ヲ示スニ如カサルヲ認メ本年度ヨリ牧草模範畑ノ設置ヲ企劃シ町村中農小農家ヲシテ之ニ當ラシメントシ先ツ一町村一箇所ヲ設置シ種子ハ道廳ヨリ優良種子ノ配付ヲ受ケ之レヲ播種セシム而シテ經營者ニハ五圓ノ補助ヲ給シ本年ハ主トシテ中農者ヲ選定ス又地積一箇一所五反歩ナリ

第六 農事講習會

斯業ニ關スル學術技藝ヲ普及シ農民ヲ啓發スルハ農事改良ノ根本義タリ從來農事講習會ヲ開設シ講話會ヲ開

催シタル所以ノモノ亦故ナキコトニアラス本年度ハ町村長戸長會議ニ際シ是等開催ノ計畫ヲ爲シ且ツ町村農會長會同ノ折其箇所ヲ協定シタリ講話會ハ本年度ニ於テ之レヲ開催セスト雖トモ冬季農閑ニ際シ小學校教員地方老農等ヲシテ實地經驗セシ效果ヲ說示スヘキヲ獎勵シタリ

第七 立毛品評會成品々評會

前項ト同シク町村長戸長會議ニ際シ其開催箇所ヲ協定シ且ツ郡農會ヲシテ管内適當ノ地ニ開催ヲ獎勵シ本年ハ關係地ノ關係上郡農會ニ於ケル成品々評會ハ之レヲ開催セス

第八 農事模範畑實地指導

農事模範畑地指導ハ其郡農會ヲ督勵シ其任ニ當ラシム農事模範畑ハ從來試驗作ヲ兼ネ之レヲ行ヒタリト雖モ町村種苗畑ノ經營ト共ニ純良種子ノ供給急ヲ告クルモノアリ徒ニ道應配付種苗ノミニ俟ツヘカラサルニヨリ本年ハ之レヲ廢止シ専ラ優良種子ノ生産ニ努メ中央種苗畑ノ任務ヲ負ハシメタリ實地指導ハ從來一人ナリシト雖モ克ク全部ヲ踏破シ能ハサルノ状態ナルニヨリ本年度ハ之ヲ二名トシタリ

第九 果樹栽培

果樹栽培ハ管内未タ其術ニ熟セス技ニ達セサルノミナラス地理其他ノ關係上好適ノ地ト謂フヘカラサレトモ又以テ自家用トシテ栽培セハ其收益尠少ナラス農家ノ餘業トシテ排絶スヘカラサルモノアルヲ以テ町村當局者ニ對シ其ノ獎勵ヲ促スト共ニ道應配付種苗ヲ勸奨シ其栽培ヲ計レリ

成績

第一〇 水田開發

水田ハ地形上灌溉ノ便アリ加フルニ氣候風土之ニ適スルヲ以テ近年著シク進歩シ現反別三百七十五町歩ニ達シ年次増加ノ傾向ニシテ本年ハ三十一町歩新ニ開發セリ是等ハ溪流ヲ利用シ工事容易ナルモノニシテ小資本ニヨリ經營セルモノニ過キス若シ夫レ河川ヲ利用シ右同資本ニヨリ經營スルモノニアリテハ實ニ荻伏村ニ於

ハ八百町歩平取村千三百町歩碧葉村二百町歩歌笛村三百廿町歩其他個人經營ニシテ河川ヲ利用セントスルモノ三石村廿町歩有良村廿餘町歩アリ共ニ本年度ニ於テ設計測量ヲ了シ其筋ノ許可ヲ了セシモノ不尠其歌笛村ノ百七十町歩餘ハ本冬灌溉溝ノ起工ヲ爲シ明春ヲ俟ツテ竣工ノ豫定ニシテ大正二年度ニ在リテハ優ニ五十町歩以上水田開發ヲ見ルニ到ルヘク其他各地本年度ニ倍加ノ開發ヲ見ルニ到ルヤ必セリ

第一 種苗畑

本年度ニ於ケル種苗畑ノ作付反別十七町四反歩ニシテ専ラ町村農會事業ニ屬シ篤農家ヲシテ經營ノ任ニ當ラシム當廳ニ於テハ郡農會技術員ヲシテ數回巡視セシメ其栽培施肥收納等一切ヲ指導シ加之道應巡回教師播種期ニ於テ巡回シ其管理經營ノ主要ヲ說示シタルヲ以テ作況良好ニシテ附近農地ニ比シ成績卓越シ收穫亦多量ニ供種量別紙ノ如ク品質モ又優越ナリ是等種子ハ更ニ簡拔精撰シ無償ヲ以テ或ハ代物交換實費等ニテ一般農家ニ配與シ且ツ其收穫物ハ種子トシテ供用スヘキヲ以テ條件トセリ配與ヲ受ケシ農家ハ之レヲ原種用トシテ栽培シ敢テ普通種子トシテ播種セシモノナキヲ以テ明年度ニ入り純良種子ノ普及全圖ニ達スヘキヲ認ム

第二 害虫病害驅除豫防

本年氣候概シテ高シト雖モ時々冷濕アリ降雨頻繁ナリシカハ病虫害ノ發生甚シク馬鈴薯ニ疫病發生シ全圃ニ瀰漫シ收穫半減ヲ來セシモノアリ米作ニ浮塵子附着シ黃萎スルモノ多ク結實ヲ阻害シ大豆ニ莢蠹虫小豆ニ蚜虫發生シタルニ依リ當廳吏員出張シ豫防制遏ニ努メ又郡農會技術員ヲ特派シ極力其驅除ヲ講シ又當業者ノ激勵奮起セシメ其豫防驅除ヲ計ラシム米作ニアリテ誘蛾燈ヲ點シ石油ヲ注射シ専ラ驅除ヲ計リシ爲メ甚シキ猖獗慘害ヲ見サリシト雖モ其他作物ニ於ケル害虫ニ對シテハ當業者等閑ニ付スルノ憾アリ

第三 施肥輪作

近年戸口ノ増加ハ農地ノ分配減少シ連年ノ無肥料耕作ハ益々地力ヲ減退シ逐年減收ノ傾アリ一般農民今ヤ漸ク舊時ノ陋習ヲ革メ精耕施肥ノ爲スモ増加シ本年ノ如キ過磷酸、厩肥ヲ使用シ無肥料耕作スルモノ尠シ然レ

トモ開墾以來日淺キモノニ在リテハ無肥耕作スルモノアルヲ以テ未タ以テ全圃ニ普及セサルヲ遺憾トスル所ナリ又荳菽類連作ノ結果病虫害ノ發生夥ク收量年次減退シ凶歉不作ヲ招ク事往々アリト雖トモ未タ之ニ代フルノ適當ナル作物ニ乏シキヲ以テ一般農家敢行セサルハ遺憾ナリトス

第一四 牧草栽培

本項牧草栽培ハ其模範畑ニ在リテハ各町村適當ナル農家ヲ撰定シ地積各五反歩ヲ栽培セリ本年ハ種子道廳ヨリ配付ヲ受ケタリト雖モ播種期失シタルモノアルヲ以テ二三町村ノ春播スル能ハサルモノアリシモ秋期ニ於テ悉ク播種セリ又一般農家ニ於テモ牧草栽培ノ必要ヲ認メ種子道廳ヨリ又ハ當業者ヨリ購入シ經營スルモノ多ク作付反別實ニ一千二百有餘町歩ニ達スルニ到レリ畢竟當廳ノ獎勵宜シキニ依ルモノアルヘシト雖モ亦當業者野草ノ減退及ヒ馬匹改良進度ノ著シキトニ依リ從來ノ放牧ヲ改メ舍飼ノ方針ニ移リタルモノニシテ牧草栽培機運漸ク熟セル結果ニ外ナラス今後一層増加ノ趨勢ナリトス輪牧ハ牧場經營上適當ナル施設ナリト雖モ未タ當業者實行ヲ見ス

第一五 農事講習會

浦河外六郡農會ニ於テ沙流郡幌去村及浦河郡杵臼村ニ三石村農會ニ於テ本桐村ニ短期農事講習會ヲ開催セリ講師ハ共ニ道廳及郡農會ヨリ派遣セリ講習科目土壤肥料作物蠶業ノ四科ニシテ講習人員左記ノ如ク講習員悉ク農業者及其ノ子弟ナリシヲ以テ地方農事ノ發達上裨益セシ所鮮少ナラスト謂フ

短期講習會

場 所	科 目	講習會員	修 得 者
沙流郡幌去村右左府	土壤、肥料、作物、蠶業	農道會 二人 會廳 一人	二七 三三

場 所	科 目	講習會員	修 得 者
浦河郡杵臼村 三石郡三石村字 本桐村	土壤、肥料、作物	農道會 一人 會廳 一人	二二 一五
	土壤、肥料、作物	農道會 一人 會廳 一人	四六 四一

第一六 農產品評會

三石村農會主催トナリ三石品評會ヲ同郡大字歌笛村ニ開催セリ出品點數五百二點出品人員百廿人受賞點數九十六ニシテ審査員ハ道廳ヨリ一名浦河外六郡農會ヨリ一名派遣セリ成績良好ニシテ優良逸品多ク地方當業者ヲ刺激シ農事ノ改良ヲ促進シタル效果尠カラストス

第一七 立毛品評會

浦河外六郡農會主催トナリ浦河郡西舍村杵臼村様似郡様似村ノ一區トシテ及新冠各村ノ一圓トシテ立毛品評會ヲ開催シタリ、西舍村ハ出品點數百七十點ニシテ其種類大小豆、燕麥、水稻ノ四種出品人員九十一人受賞點數三十點ニシテ新冠郡ハ出品點數百五點出品人員三十一人受賞點數廿六點ニシテ出品種類大小豆、燕麥、水稻ノ四種トス共ニ同地方ニ於ケル斯種施設ノ嚆矢ニシテ親シク各圃場ニ就キ審査講評シ加フルニ褒賞授與式ニ際シ耕助栽培ノ是非得失病虫害驅除豫防ヲ詳密說示シタルヲ以テ當業者ノ農事改良上効果不尠又門別村平取村ニ於テハ村農會主催ノ下本會ヲ開催シタリ出品點數門別村ハ百四十八點平取村三十三點ニシテ門別村ハ一般農家ノ圃上ヲ出品シ平取村ハ種苗畑作物ヲ出品シタリ共ニ前年以來開催シ本會ハ其第三回ニ屬スルモノニシテ各農家農地經營管理上注意シ耕助栽培除草施肥等舊來ノ弊害ヲ革メ農事改良進步顯著ナルヲ認メタリ

第一八 模範畑

浦河外六郡農會ニ於テハ靜内郡靜内村大字下々方村ニ模範畑ヲ設置シ技術員一名ヲ特派シ之ヲ經營セシム該事業ハ學理ヲ實地ニ應用シ其効果ハ一般ニ範示セシムルモノニシテ本年ハ氣候ノ關係上燕麥ヲ除クノ外充分

ノ成績ヲ舉クル能ハサルト雖尙附近農園ニ比シ秀拔セルモノ其收穫物ハ之ヲ精撰簡拔シ種苗トシテ悉ク町村種苗ニ無償付與シタリ

第一九 指導

本廳ヨリ技術員一名指導獎勵ノ爲メ出張セシメ當廳ニ於テハ郡農會技術員ヲシテ實地指導ノ任ニ當ラシム四五日ノ交種播耕勸施肥等ノ指導トシテ管内各村ヲ巡回セシメ七月害虫驅除豫防救治ノ爲メ十月收穫物處理方法指導トシテ各村ニ出張セシメタリ専ラ當業者ニ付キ指示教導シ且ツ僻村落ト雖モ敢テ闕却セサルヲ以テ從來ニ比シ其指導周到ニ勸獎詳密ニシテ農事改良上與ヘタル効果蓋シ甚大ナリトス

第二〇 果樹栽培

本年種苗ハ概シテ道廳ノ配付ヲ受ケ植栽シタリ是等種苗ハ其種類旭、紅玉、國光、祝、紅魁、紅絞コレカ總數六百四十本ノ多キニ上リタリ此他普通商店ヨリ購入セルモノ三百廿本アリ近時自家用トシテ又風致用トシテ之レヲ栽培スルモノ漸次増加ノ傾向アリト雖モ未タ以テ一般農家ノ省ミル所トナラサルハ遺憾ナリトス

第二一 農事改良上成績顯著ニシテ特ニ注意スヘキ事項

水田開發種苗畑經營牧草栽培立毛成品品評會講習會等ハ共ニ成績佳良ニシテ農事改良上効果甚大ナルヲ認ムル所ニシテ其成績前項記述セルカ如シ

蠶業

獎勵事項

養蠶

桑樹栽培

第一 獎勵方法

管内蠶業ハ氣候風土之レニ適スルノミナラス山岳丘陵多ク平衡ノ地少ク農耕地ニ乏シキヲ以テ斯業ハ住民ノ副業トシテ最モ適切給好ノモノタリ從來町村長戸長會議ニ際シ又ハ町村農會若クハ當業者ニ勸奨唱導最モ努メタルト雖モ勞力ノ缺乏ヲ故トシ一般住民之レヲ省ミス偶々之ヲ行フモノアルモ其技ニ熟セス術ニ達セサルヲ以テ豫期ノ成果ヲ收ムル能ハス一朝ニシテ薄利ノ業トシテ拋棄スルモノ多シ近年耕地ノ局限ト共ニ蠶業ノ必要ヲ認識シ往々企劃スルモノナキニアラサレトモ未タ寥々トシテ曉星ノ如キ感アリ依ツテ町村當事者ヲ督勵シ其興隆ヲ計レリ蠶業ノ興地ハ桑園ノ饒多ニ俟タサルヲ以テ蠶業獎勵ト共ニ桑園設置ノ獎勵ニ努メタリ

第二 成績

蠶業ハ前項記述ノ如ク勞力配給上之ヲ肯ハセサルノミナラス一般其技術拙劣ニシテ偶々之ヲ行フモノアルモ四五ヲ除クノ外ハ收量少ク薄利ニ陥ル狀態ナルヲ以テ進ンテ之ヲ行フモノ稀ニシテ更ニ成績ヲ舉クルヲ見スト雖モ桑園ハ年次増加シ本年度總反別三十四町歩ニ達シ前年ニ比シ三町歩増加ニ到レリ

ハ 畜産

獎勵方法

第三 產馬共進會

產馬業ハ管内副業中主要ナルモノニシテ之レカ改良發達ヲ計リ農業上及軍馬上ニ貢獻セシムルハ現今急務ナリ明治四十五年七月二十一日ヨリ四日間日高國一圓ヲ區域トシテ馬政局ニ審査官ノ派遣ヲ仰キ第六回日高國產馬共進會ヲ靜内郡靜内村大字下々方村ニ開催シ斯業ノ獎勵ヲ爲シタルニ効果偉大ナリ之レニ要スル費用ハ日高實業協會並ニ有志ノ寄附金ヲ以テ之ニ充テタリ三十九年以來毎年開會シ銳意獎勵スル所ニシテ馬匹ノ改良發達年々進歩著シク成績良好ナリ

第四 畜産削蹄講習會

管内産牛馬組合主催トナリ本廳ニ講師ノ派遣ヲ仰キ大正二年一月十日ヨリ二月二日迄左記町村ニ於テ畜産並ニ削蹄講習會ヲ開キ講習生ハ當業者並ニ其子弟ニシテ何レモ熱心ニ講習ヲ受ケ種畜ノ撰擇蹄ノ保護削正方法ノ如キ實地ニ應用シ斯業ノ改善ニ努メツ、アリ

畜産及削蹄講習會成績表

開催場所	講習人員	修得證書授與者數	聴講者數
三石村大字幌毛村	三〇	二六	二〇
靜内村大字碧蔭村	三〇	二五	二七
平取村	二〇	一九	一八

第五 競馬

日高國ハ地形氣候産馬業ニ適シ殊ニ競走馬ノ生産地ヲ以テ稱セラル、所ニシテ馬政局補助ヲ本年度ヨリ仰キ其他北海道産牛馬組合聯合會並ニ日高實業協會ヨリ補金ヲ得四十五年五月三石七月靜内、九月浦河ニ開催シ馬匹ノ筋肉四肢發達ヲ遂ケシメ一面ニ於テハ一般ノ好馬心ヲ誘發セシムル等銳意乗用馬匹ノ改良ヲ獎勵シタリ

第六 馬匹去勢

馬匹去勢ハ産馬改良上軍備上必要ナルハ言ヲ俟タス四十五年七月幌泉、門別、下々方ノ三ヶ所ニ於テハ去勢馬匹ニ對シ獎勵金下附セラル、モ之レニ應スルモノ尠ク馬匹改良上遺憾トスル所ニシテ極力之レカ施行ヲ實行シ劣等馬匹ノ生産ヲ防キ馬匹改良ノ實ヲ擧ケツ、アリ

第七 補助種牡馬購買

大正元年度沙流郡産牛馬組合ニ於テ地方費ノ補助ヲ受ケ種牡馬ヲ購入シ組合員ノ牝馬ニ配合シテ馬匹ノ蕃殖ヲ圖リツ、アリ昨年度ニ於テ幌泉、三石、沙流、ノ三組合ニ於テ補助購入ヲ爲シ成績良好ニシテ産馬改良上喜フヘキ現象ナリ

二 其他

産業組合

獎勵事項

既設組合事業ノ振作

第一 獎勵方法並成績

既設組合ハ信用組合ニ、購買組合ニシテ共ニ設置以來日淺キト雖モ尙事業萎靡不振ノ傾向ナルヲ以テ町村長戸長會議ニ際シ指示諭達スルト共ニ吏員出張ノ際親シク事業ノ振興ヲ指示セシム且ツ繪笛佐妻兩村ニ對シテハ講習會ヲ開設シ其運用方法ヲ詳悉講説シタリ講習會員ハ主ニ組合員ニシテ講師ハ道廳ヨリ派遣セラル又講習人員繪笛三十二名、佐妻二十八名ニシテ修得者繪笛三十名、佐妻二十六名ナリ新設ノ獎勵ハ吏員出張ニ際シ親シク部落民ニ勸奨唱導スルト共ニ町村當局者ニ指示訓達シ其獎勵ニ努メシム本年ハ靜内村ニ一組合新設スルヲ見タリ然レトモ既設組合ノ事業振興セス效果擧ラサルヲ以テ部落民其組織ヲ躊躇スルモノ尠カラサルヲ以テ本年度ニ於テ既設組合ノ整理振作ヲ計リ略ホ其弊竇ヲ艾除シ基礎ノ鞏固ヲ策セシヲ以テ爾後ノ發展期シテ待ツヘシ

河西支廳管内

第一 農事獎勵及狀況

イ 農 業

農事ノ改良發達ヲ圖ラン爲農事試驗場十勝支場及第四農區駐在員ト協議シ農是方計ヲ左ノ四大要綱ニ分チ外ニ副業ノ一項ヲ加ヘテ之ヲ基礎トシ町村及郡町村農會ヲ督勵シ時ニ吏員ヲ派シテ指導獎勵ニ力ヲ致セリ其本年ノ實績概況ヲ記スレハ左ノ如シ

四 大 要 綱

- (1) 厩肥堆肥ノ製造使用
 - (2) 優良種苗ノ普及
 - (3) 輪作ノ獎勵
 - (4) 水田開發獎勵及栽培法指導
- 外ニ副業ノ獎勵

指導獎勵方法及實蹟概況

第一 施 肥

本件ハ要綱ノ一ナレハ講話ニ講習ニ苟モ獎勵指導ノ目的ヲ達シ得ル機會ニ於テハ之カ必要ヲ會得セシムルニ努メ或ハ郡町村農會ヲシテ補助ニヨル堆肥小屋ノ建設ヲナサシムル方針ヲ取り以テ施用普及ヲ圖レリ目下自作農及大農場小作人ニ於テハ出來得ル丈ノ厩肥ヲ施用セント努ムルニ至リ若シ夫レ人造肥料ノ輸入ニ就テハ逐年其比例ヲ増加シ却テ施用過度ニ流ル、ノ虞アル村落アル程ナリ

第二 優良種苗ノ普及

種類及品種ハ試驗場ノ優良ト認メタルモノヲ指定シ之レカ主ナル實行方法トシテ左ノ三項ニ力ヲ注キ實行ヲ督勵シツ、アリ

A 郡町村農會種苗配付

郡農會本年內種苗配付量水稻一石三斗大豆二石四斗小麥六斗燕麥二石

B 青年團體及篤農家ヲシテ種苗圃ヲ設定セシメ實物交換及配付ノ方法ヲ採リ部落ニ普及セシム

C 道廳種苗配付規程ニヨル配付出願ヲ獎勵ス

本年內配付量水稻一石六斗四升、大麥一斗四升、小麥三斗五升、稗麥五斗四升五合、燕麥一石五斗二升、大豆二石一斗五升五合、小豆、四斗二升、菜豆四斗五升、玉蜀黍七斗五升、馬鈴薯二十六貫、牧草二十貫

D 芽室村青年會ノ種苗配付

美生中央青年會試作大豆福永(原種ハ道廳配付ノモノ)九石六斗ヲ部落希望者ニ交換ヲ行ヒ西士狩青年會ハ同福永一石六斗ヲ無償配付ヲナセリ

本村及音更ノ兩村ハ四十年頃ヨリ道廳及郡農會ヨリ熱心種苗ノ配付ヲ受ケタルト村農會及青年會ノ種苗圃ヲ設ケタルモノアルトニヨリ今ヤ良品種一定シ雜品種ヲ見ルコト稀ナリ

而シテ本網中直接撰種ニ屬スル部ノ實行セルモノ次ノ如シ

A 黍黑穗病豫防

茂寄、大津ノ二村ヲ除キタル九ヶ町村ニ吏員ヲ派シ種子黍ノ豫防ヲ實施セリ數量三十七石五斗

B 馬鈴薯疫病種子ノ豫防

被害種薯ヲ種子用ニナサシメサル目的ヲ以テ十月中道廳吏員ノ派遣ヲ乞ヒ貯藏及種付前ノ注意等ニツキ講話ヲナセリ

第三 輪作ノ獎勵

大小豆ニ代フルニ夏作ハ麥類殊ニ稗麥秋作ハ玉蜀黍ノ作付ヲ主トシテ獎勵シ(稗麥及玉蜀黍ハ食用作物増加

ノ目的)其他適當ノ薯蕷、青豌豆、馬鈴薯、亞麻等ヲ配合セル耕作法ヲ指導シ努メテ連作ノ不利ナルヲ會得セシム而シテ今後ニ於ケテ比較的適法ニ近キ輪作物ノ種類配合歩合及方法ハ目下調査中ニ屬ス

第四 水田開發獎勵及栽培法指導

水田一般ノ素養ヲ圖ランタメ郡農會ヲシテ三月中講演會ヲ帶廣ニ開催セシメ講師ハ道廳及十勝支場ヨリ派遣ヲ乞ヒ聽講生三日間計二百七十一名ヲ得タリ

實地指導ハ蒔付前插秧期及落水期ノ三回ニ分テ道廳及農區ヨリ吏員ノ派遣ヲ乞ヒ主ナル耕作地ニ於テ延日數約五十日間ノ巡回講話ヲ施行セリ

外ニ水田ニ關スル講話トシテ上川郡鷹栖村ノ人田中市太郎篤志ヲ以テ巡回講話ヲ行ヒタルアリ而シテ本年分作付反別未タ僅カニ二百三十五町歩ニ過キスト雖モ開發計畫者所在ニ勃興シ其趨勢急ナルモノアリ今各町村ニ於ケル實績ヲ舉クレハ左ノ如シ

人舞外一村

農會ノ事業トシテ部内六ヶ所ニ試作ヲ囑託シ幾分ノ補助ヲ給シ實績ヲ舉ンコトニ努ム殊ニ十勝開墾合資會社ハ最モ力ヲ注キ試作ノ結果好良ナリシヲ以テ地内ニトマツブテ追年水田ニ改造スル目的ヲ以テ百七十町歩ノ灌溉開墾許可ヲ得既ニ五十町歩ノ創成ヲ見ル外ニ水利權獲得出願中ノモノ届足九百三十五町歩人舞五百町歩アリ

芽室村

水田ノ成績佳良ナリシヲ以テ大字西士狩同美蔓ノ兩村ニ於テ約二千五百町歩ニ對スル灌溉設立ノ爲實地測量中外ニ芽室、美生兩原野ニ於テ千五百町歩字上芽室ニ於テ千二百町歩上美生ニ於テ六百町歩何レモ灌溉溝工事設計調査申請中ノモノアリ

伏古村

二百二十町歩餘ノ水利組合設立目下百二十五町歩ノ水田創成ヲ見タリ

音更村

管内中尤モ古クヨリ試作シ來リタル所ニシテ成績優良既往十ヶ年平均及反當一石一斗内外トス作付反別六十町歩ヲ超エ今所 東宮殿下行啓紀念トシテ字士幌ニ約八百町歩ノ土功組合設立中士幌ニ水利權出願中ノモノ二百三十七町歩大字然別ニモ約三百町歩ノ創成計畫協議中ニ係ルモノアリ

幕別村

村經營ニテ別奴、白人、幕別ノ全村ニ亘リ起工セントスルモノニシテ面積約二千五百町歩四十四年中既ニ道廳技師ノ派遣ヲ乞ヒ實地踏査ヲ行ヒ事業計畫中ニ屬ス

洞寒村

本村モ音更村ニ次キ古クヨリ試作シ來リタル所成績良好ナリシヲ以テ個人試作者多ク而シテ目下比較的大規模ナル計畫トシテ信取高島農場内ニ約二百五十町歩ノ灌溉溝開墾許可ノモノアリ又池田農場ニモ面積詳ナラサレトモ起工計畫中ノモノアリ幕別踏査派遣技師ノ序ヲ以テ實地適否ノ踏査ヲ了セリ

本別外五村

勇足坂東農場ニ於テ起工計畫アリ目下試作中本別函館農場モ創成ヲ企圖シツ、アリ

浦幌村

試作反別約一町二反歩ニ過キス現状振ハサレトモ下浦幌ノ一部中浦幌、常室方面ハ適地ニシテ計畫企圖ノモノ亦尠ナカラス

蠶業

養蠶ハ成績佳良特ニ農業勞力ノ配當上特ニ夏蠶飼育ノ適切ナルヲ認メ之カ獎勵ニ努メタリ而シテ從來飼育ハ

野桑ニ據リタレトモ今ヤ蠶兒ノ飼育ハ必スヤ桑園ノ造設ニ俟タサルヘカラス依テ之レカ創成ニ力ヲ致セリ

ハ 畜 産

一般畜産界ノ不況尙回復スルニ至ラスト雖牛馬ノ價格ハ前年ニ比シテ稍々高値ナリシカ如シ然レトモ牧牛者ニ至ツテハ其經營猶困難ノ域ヲ脱セス其飼養頭數ノ如キ前年ニ比シ五百餘頭ノ減少ヲ見ルニ至リタルハ大ニ遺憾トスル所ナリ牛畜ノ副産物トシテハ煉乳、牛酪、牛肉罐詰等アルモ未タ著シキ發達ヲ見ス唯牛酪ニ至リテハ一万四千六百餘斤此價格約一万圓ニ近ク前年ニ比シ二倍半以上ノ産額ヲ見タルハ稍意ヲ強フスルニ足リ馬匹ハ牛畜ノ不振ナルニ反シテ漸次進歩發達ノ績ヲ見ルハ喜フヘキ現象ニシテ之ヲ馬匹實查ノ成績ニ徵スルモ前年ニ比シ頭數ニ於テ八百六十餘頭ヲ増加セルノミナラス種類別ニ於テハ洋種約二割五分雜種一割以上ヲ増加シ内國種ニ於テ五百餘頭ヲ減スルニ至レルハ又一進歩ト云ハサルヲ得ス殊ニ札幌ニ於テ開催セル第三回北海道馬匹共進會ニ出陳セル管内馬匹五頭共全部授賞セラレタルハ産馬地トシテ十勝ヲ紹介スルニ於テ多大ノ效果ヲ收メ得タリ

産馬獎勵上ノ施設トシテハ馬政局十勝種馬牧場ニ要請シテ新ニ管内上川郡人舞村字清水ニ國有種牡馬出張種付所ヲ設置シ人舞屈足ノ兩村及芽室村ノ一村ニ於ケル優良牝馬ニ國有種馬ノ交配ヲ得セシメタルハ同地方産馬改良上甚大ノ效果ヲ見ルヘシ又十勝國産牛馬組合ノ施設ニ係ル馬競場ハ本年更ニ馬場ノ改修ヲ行フト共ニ厩舎一棟ヲ新設シ且ツ馬政局ニ向テ賞典下付ノ申請ヲ爲シタリシカ馬政局ノ通牒ニ係ル釧路北見根室ノ各組合連合不成立ノ爲一時行聯ノ姿ナリシモ遂ニ十勝産牛馬組合獨立主催ニテ金貳百圓ノ賞典ヲ下付セラル、ニ至リ地方産馬家ノ意氣大ニ昂リ更ニ一層熱誠ヲ産馬事業ニ傾注スルニ至レルハ亦一快事ト言ハサルヘカラス又同組合ノ施設ニ係ル家畜市場ハ新得、帶廣、足寄、浦幌、大樹ノ各地ニ臨時市場ヲ開設シ出場頭數四百二頭糶賣頭數二百八頭此價額一万四千六百五十九圓ヲ算セリ

其他十勝産牛馬組合ヲシテ畜産及削蹄講習會ヲ數ヶ所ニ開催セシメ畜産上ノ智識ノ普及ヲ努メタリ

ニ 其 他

第一 副業ノ獎勵

A 燕麥俵製造施用ノコト
冬期間ノ副業トシテ獎勵シ殊ニ本年三月十勝農産商組合設立發起ノコトアリシヲ以テ之ト諮リ一定ノ様式ヲ議定一般ニ採用スルコトニ一決シ七八月中材料ノ用意製造法指導獎勵ノ爲延日數四十五日間ノ巡回講話ヲナセリ獎勵要趣及様式ハ別紙印刷物ノ通り

B 其他ノ副業
養畜、養鶏、製炭、椎茸養成、製麻等販路其他ノ狀況ニヨリ緩急ヲ圖リ獎勵シ中ニ成績ノ見ルヘキモノ尠ナカラス

第二 品 評 會

農事一般ノ改良興振ヲ圖ラサンカ爲メ開催ヲ獎勵シ中ニモ立毛品評會ハ四十四年中芽室村ノ一ヶ所ニ過キサリシモ獎勵ノ結果人舞ニ二ヶ所芽室、洞寒、大津、茂寄ニ各一ヶ所計六ヶ所ニ及ヒ成績良好ナリ成品々評會ハ音更村ニ於テ部落品評會ヲ行ヒ後チ一村優良品評會ヲ開催セリ

第三 講 習 會

郡農會ニ於テ本別、音更、幕別、洞寒ノ四ヶ所ニ開催修得者六十五名ヲ得タリ

第二 四十五年中(大正元年)農事改良上成績顯著ニシテ

特ニ注意スヘキ事項

- イ、水田ノ勃興(開發獎勵及栽培法指導)
- ロ、燕麥稈俵ノ製造獎勵
- ハ、立毛品評會ノ開催
- ニ、競馬ノ施行
- ホ、糶市場ノ設置

釧路支廳管内

第一 農事獎勵及狀況

イ 農業

農事ノ改良發達ヲ計ラン爲メ前年ノ繼續事業トシテ施肥輪作、撰種方法改良農具ノ使用講習講話品評會ノ開催等ノ獎勵事項ニ付キ農事試驗場十勝支場及第四農區指導員ト適切ノ事項ヲ協定シ時々吏員ヲ派シ又ハ郡町村農會ヲ督勵シテ之カ指導獎勵ヲ爲セリ其ノ概況ヲ記スレハ左ノ如シ

第一 施肥輪作

本件ハ無肥料耕作ヲナセル管内ニハ最重要事項ナルヲ以テ厩肥及堆肥ノ製造獎勵ニ力ヲ注キ講習講話ニ又ハ町村農會ヲ督勵シテ之カ施用ノ普及ニ努メタル結果漸次施用者ヲ増加シツ、アリ其ノ人造肥料ニ至テハ逐年輸入數ヲ増シ明治四十四年ニ於ケル使用數ハ三千七百俵(此價額五千八百餘圓)ナリ如斯漸次地方保護ノ感念ヲ増進シツ、アルハ疑ヲ入レサル所ナリ又其輪作ニ至テハ町村長戸長ヲ會シ之カ實行方法ヲ示シ獎勵ニ努メタルヲ以テ夏作物殊ニ莖藁ノ作付反別ヲ増加セリ

第二 撰種

農産物品位ノ改善ハ一ニ種類ノ撰定及其種子ノ良否ニ起因スルヲ以テ撰種方法ヲ示スト共ニ郡町村農會部落青年會等ヲシテ種子圃ヲ設ケシメツ、アルハ漸次其成績ノ見ルヘキモノアルヲ期待ス其他各農會ヲ督勵シテ良種ノ購入配付ヲ爲サシムル等之カ改良ヲ圖レリ

第三 改良農具及家畜ノ使用

勞力減少ノ目的ヲ以テ家畜ヲ飼養スル外一方地方維持ノ必要上可成多クノ耕馬ヲ飼養セシムルコトニ努メ今ヤ農家戸數ノ六七分ハ一戸一二頭ノ耕馬ヲ有スルニ至レリ亦改良農具モ一般ニ使用ノ觀念興起シ來リ自家經濟ノ容ス限リ購入スル傾向アリ因ニ品評會等ノ賞品トシテ改良農具ヲ授與スルノ方針ヲ採レリ

第四 立毛品評會ノ開催

從來農産品評會ニ各所ニ之レヲ施行セルモ立毛品評會ノ開催ナカリシヲ以テ郡農會ヲシテ足寄郡螺灣村、阿寒郡舌辛村、白糠郡白糠村ノ三ヶ所ニ開催シ輪作ノ方法ニ施肥ニ品種ノ撰擇ニ其他耕種ノ一般ヲ比較品評シ其優劣ヲ說示セリ本件開催ハ最モ有効ト認ムルヲ以テ漸次其開催ヲ増加セシムヘシ

第五 成品々評會ノ開催

釧路町及足寄村農會ヲ督勵シテ成品々評會ヲ開催セシメタリ其成績左ノ如シ

主催者	出品區域	出品點數	受賞者點數
釧路町農會	釧路町一圓	三三六	六九
足寄外三村農會	足寄部	一五〇	五七

第六 講話講習

管内一圓ヲ二區ニ分チ春秋二期ニ講話會ヲ開催セリ又講習會郡農會ニ依リ左ノヶ所ニ於開催ス

開催地	講習科目	講習人員	會	期
足寄郡陸別村	作物、病理、害虫、土壤肥畜		二一	大正元年十二月十日ヨリ 同 年同 月十六日マデ

第七 副業ノ獎勵

現在ニ於ケル副業トシテハ第一ニ椎茸養成ヲ舉クヘク斯業ハ尤モ好適スルヲ以テ是レカ獎勵ニ力ヲ至セリ其
他養鶏、製炭、養蠶(殊ニ桑園造設)杞柳栽培等ニシテ緩急ヲ圖リ獎勵ノ結果何レモ其緒ニ付キ就中椎茸養成
ノ如キハ成績ノ見ルヘキモノアリ
本期ニ於ケル農況ハ農季ノ初メニ於テ寒冷ナリシ爲メ著シク農作物ノ成育ヲ阻害シ八月ニ至リ氣温ノ上昇ヲ
見一般ニ豊作ヲ豫想セシニ俄然九月十八、十九兩日強度ノ霜害アリ同月二十三日ニハ豪雨アリタル爲メ結實
ヲ不充分ナラシメ地方ニ依リテハ何等ノ收穫ヲ見サル向アル等稀ナル凶歉ニ遭遇セリ如斯狀況ナルヲ以テ一
般ヲ通シテ約六分作弱ナリ

蠶業

未タ記スヘキ事項ナシト雖モ管内副業ノ一トシテ桑樹栽培及養蠶ノ獎勵ヲナセリ

畜産

畜産業ハ軌近著シク發達セリト雖モ飼養管理ノ粗放ナル又配合ノ失宜等幾多改善ヲ要スルモノアリ本期施設
セル事業ハ講習會、家畜市場ノ開催、種牡牛馬ノ配置、馬匹去勢ノ獎勵等ニシテ概況左ノ如シ
第一 講習會
産牛馬組合主催ノ下ニ左ノ二ヶ所ニ開催ス

開催地	講習科目	講習人員	會	期
足寄村	畜産削蹄		二七	大正元年十二月一日ヨリ 同 年同 月七日マデ
厚岸町	右ニ同シ		四四	同 年十二月十六日ヨリ 同 年同 月十六日マデ

第二 家畜市場

家畜市場開催ノ狀況左ノ如クニシテ就中大樂毛市場ハ稀ナル盛況ヲ見タリ

開催地	出場馬頭數	販賣頭數	販賣價格
釧路村字大樂毛	三〇七	二二〇	一一、〇〇九
苫多村字尾幌	四七	一七	六九二

第三 種牡牛馬ノ配置

前年釧路村字大樂毛ニ設置セル種付所ニハ十勝種馬牧場ヨリ二頭ノ優良種牡馬配置ヲ得タル外本期中北海道
應ヨリ種牡牛三頭、種牡馬五頭ヲ借受ケ各地ヘ配置セリ

第四 去勢ノ獎勵

馬匹ノ去勢ニ關シテハ極力勸誘スル所アリシモ總數七十八頭ニシテ前年ニ比シ五十四頭ノ減ヲ見タリ
本期中畜産界ハ幾分不況ニシテ殊ニ畜牛ノ價額低落シ牧牛者ハ打撃ヲ蒙リ其飼育頭數ニ於テ約五百頭ノ減少
ヲ見タルハ遺憾トスル所ナリ又春期ニ於ケル二回ノ暴風雪ハ牛馬七百三十六頭ヲ斃シ損害見積高二万二千圓
ノ大ナル災害ヲ蒙リタルハ數十年來未ダ嘗テ見サル氣象上ノ支配ニシテ如何トモスル能ハサリシモノアラン
モ畢竟飼養管理ヲ粗ニセル結果タルヲ以テ是カ悔ヲ再ヒセサラン様警告セリ

二 其他

一、管内ハ概シテ農家冬期間ノ仕事トシテ木材伐採運搬ニ從事シ本務ノ耕作ハ却テ副業的ノ状態ナリシカ木材界ハ一月以來漸次不況ニ陥リ七月頃ニ至リテハ京濱、兵阪、名古屋方面ニハ日ヲ逐フテ停滯品増加シタルノミナラス資金ノ回收困難ヲ感スルノ大不況ヲ見タルヨリ其影響甚敷之ニ從事スル農民モ隨テ閑散トナリ農事ニ稍々熱心ノ狀況トナレリ

二、農家ノ副業トシテ椎茸養成及製炭ノ實地指導ノ春秋二期ニ管内ニ普及セリ

第二 四十五年度中(大正元年)農事改良上成績顯著ニシテ特ニ
注意スヘキ事項

- 一、一昨年大樂毛種付場ニ於テ種付シタル結果本期ニ於テハ優良ナル產駒ヲ擧ケタルコト
- 二、黍ノ黑穗豫防(硫酸銅液ニ浸漬スルコト)ハ之レヲ實施セシ所ト否ラサル所トヲ區別セシニ豫防法實施ノ箇處確實ニ豫防セラレタルコト
- 三、立毛品評會ヲ管内三ヶ所ニ開催セシニ何レモ除草手入等注意周到ニシテ耕作ニ一層熱心ナルコト
- 四、八月ニハ札幌ノ馬匹畜産共進會へ九月ニハ又十勝種馬牧場へ團體ニテ畜産視察ヲナサシメタルニ當業者ハ益々畜産上ノ趣味ヲ増進シタリ

根室支廳管内

第一 農事獎勵及狀況

イ 農業

獎勵事項ハ撰種、播種、施肥、作物管理、堆肥ノ製造、收穫及調製、輪作及秋耕、病虫害驅除豫防、家畜ノ飼育、漁村農園ノ設置及新來移民ニ對スル小屋掛及開墾法等ニシテ其方法ハ講話及品評會ノ開催トス

第一 講話會

五月三十日ヨリ六月十四日マテ和田別當賀、別海、西別殖民地、春別、標津、標津殖民地、薰別、羅白、泊、古丹泊、瀨石、植内ノ十三ヶ所ニ於テ農事講話會ヲ開催(講師第四農區駐在農業技手町田熊一郎)シ百十八名ノ聽講者ヲ得又十月廿六日ヨリ同月二十七日マテ標津及標津殖民地ニ於テ同講話會開催(講師第四農區駐在農業技手町田熊一郎、根室農事試作場農業技手小野寺德之丞)聽講者二十七名アリ何レモ相當效果ヲ收メタリ

第二 品評會

十月二十日ヨリ同月二十二日マテ三日間根室郡根室町ニ於テ根室町第一回農產品評會及同月二十二日ヨリ同月二十四日マテ三日間國後郡泊村ニ於テ泊村第三回水陸物產品評會ヲ開催セリ前者ハ出品人員四十八名出品點數穀類三十二點蔬菜類百九十六點ニシテ穀類ハ點數モ少ク品質モ亦優良ナルモノ多カラスト雖トモ蔬菜類ハ管ニ出品點數ノ多キノミナラス品質又極メテ優良ナルモノ多ク後者ハ出品人員水產百五名、陸產百九名計二百十四名出品點數水產百五十一點(內食用四十一、肥料用百十)農產百九十二點(內穀類六十四、蔬菜類百二十八)ニシテ其ノ品質ハ水陸共ニ優良品多ク前回ニ比シ進歩ノ著大ナルヲ認ム

ロ 蠶業

該當事項ナシ

ハ 畜産

獎勵事項ハ牧場經營法、種畜ノ撰擇、家畜ノ飼養管理法、牧草ノ栽培、幼駒ノ育成法、放牧地ノ整理、冬期放牧

馬ノ保護方法、家畜ノ手入法及運動法、家畜ノ取扱法及調教法、削蹄及護蹄法等ニシテ七月八日根室町同月九日和田村ニ於テ講話會ヲ開催シタルノ外公務出張ノ序ニ當廳技手ヲシテ實地指導及講話ヲ隨時隨所ニ開催施行セシメタル其結果從來天惠ニノミ奇頼シテ人力ヲ用フルコトヲ爲サス粗惡放縱敢テ改良ニ意ヲ用ヒサリシモノモ漸次前非ヲ改ムルノ傾向ヲ生スルニ至ルト共ニ趣味ヲ持チテ經營スルモノ漸ク多キヲ加フルノ傾向アルハ喜フヘキ現象ナリトス

第二 大正元年度中農事改良上成績顯著ニシテ特ニ注意スヘキ事項

第一項記載ノ獎勵事項ハ多年連續施行シツ、アリシト雖トモ農民ハ固ト保守的ニシテ容易ニ舊慣ヲ改ムルコトヲ爲サ、ルノミナラス當管内專業農家ニ在ルハ最近ノ事ニ屬シ未タ創業ノ域ヲ脱セス同年度中ニ於テ改良上顯著ナル成績ヲ認ムル能ハスト雖トモ種子ノ撰擇、施肥、輪作、病虫害ノ驅除豫防、漁村農園ノ設置、種畜ノ撰擇、牧草ノ栽培、放牧地ノ整理、家畜ノ取扱及調教等ニ注意ヲ拂フモノ漸次増加ノ傾向アルハ何程カ實驗ニ喜フ所アルヘシト雖モ多クハ指導獎勵ノ結果ニシテ又斯業改良上多少ノ進歩ト云フヲ防ケサランカ

網走支廳管内

第一 農事獎勵及狀況

イ 農業

第一 講習講話會

農事改良發達ヲ計ル上ニ於テ斯業ニ關スル智識ヲ授クルハ尤モ必要事項ナルヲ以テ指導機關タル郡町村農會ヲ督勵シ一方農事試驗場北見支場並ニ農區擔當員ト協力シ農閑時期ヲ利用シテ大正二年二月常呂郡常呂村ニ

於テ一週間短期農事講習會ヲ開キ農事ニ關スル智識ノ普通ヲ圖リ及ヒ同年度中數回ニ涉リ郡農會技術員ヲシテ斜里美幌、下湧別、渚滑ノ各村ヲ巡回セシメ小學校、寺院等ニテ農事講話會ヲ開キ施肥ノ心得、作物品種ノ改良、作物輪作ノ必要、果樹栽培上ノ注意等講話セシメ其改良促進ヲ圖リタルカ未タ其効果ヲ具體的ニ記述スル能ハサルモ漸次改善セラレツ、アル點尠カラサルヲ信ス

第二 農產品評會

各種農產物ニ就キ比較審査ヲナシ優良品種ノ普及並ニ肥培管理等ノ指導ヲナスハ農事改良發達ヲ圖ル上ニ於テ最モ有益ノ施設ナルヲ認メ網走外三郡農會及町村農會ヲ誘導シ去ル四十二年以來連年管内樞要ノ農村ニ開設セリ即チ大正元年度ニ於テハ美幌外四ヶ村ヲ區域トシテ開設シタル第八回大豆立毛品評會ハ出品數數百八點ニシテ受賞者四十八名又紋別郡渚滑村ニ開設ノ農產品評會ハ其出品數數類二百十點大小豆五十點蔬菜果實二十六點受賞者歩合三割ニ當リ其成績良好ナリトス而シテ毎年開催セル主產物立毛品評會ノ如キ同一同町村ニシテ二回以上開催シタル結果ヲ見ルニ前回ニ比シ品種ノ統一、種類雜交ノ程度病虫害驅除豫防等一般ノ進歩ヲ來シタルハ前記講習講話會ト相俟ツテ此種品評會ノ効果ニシテ農事改良上大ニ注意ヲ喚起シ覺醒ヲ促シタルコト甚大ナリトス

第三 種子ノ撰擇及黑穗豫防實地指導

播種前ニ於テ種子ノ撰擇及病害豫防ヲナスハ最モ必要ナルヲ以テ毎年三月ヨリ郡農會技術員ヲ各村ニ出張セシメ之ニ實地指導ト共ニ病虫害驅除豫防劑ノ製法及使用方法ヲ說示セシメタル結果ハ漸次種子撰擇ニ意ヲ注キ黑穗病ノ減少ヲ見ルニ至レリ

第四 木炭製造及椎茸栽培

當管内ハ至ル所木炭及椎茸製造ノ原料ニ富ミ農家ノ副業トシテ最モ有利ノ事業ナルヲ以テ之レカ實地指導ノ爲メ講師ノ派遣ヲ受ケ又一面網走外三郡農會ヲ誘導シ同會ノ繼續事業トシテ之レカ施設完成シタルモノニハ

相當補助金ヲ交付スルコト、シ大正元年度ニ於テ椎茸栽培ヲナシタルモノ網走郡網走町ニ一人紋別郡滑滑村ノ一人ニ對シ金八拾圓ノ補助金ヲ交付シタリ右補助金ヲ受ケタルモノ、内滑滑村豊村品藏ノ如キハ寢込本數五万本以上ニ達シ最初寢込ノモノハ本年四年目ニシテ明年ヨリハ幾分ノ發生ヲ見ルニ至ルヘキモ未タ其成績ヲ見ルニ至ラス又改良炭竈築造ニ對シテモ補助金ヲ交付シタルモノ四十四年度ニ於テ八ヶ所其金額五拾圓アリシモ大正元年度ニ於テ補助シタルモノナシ

第五 施肥獎勵

當管内ハ開墾日尙淺ク一般無肥料耕作ヲ常トスルモ既ニ開墾後數年ヲ經過シ施肥ノ時期到來セルニ係ハラヌ施肥ノ感念ニ乏シク漸次地力ノ減耗ヲ來スノ恐アル故ニ農家トシテ得易スキ肥料ヲ製造使用スルハ最モ必要ノ事柄ナルヲ以テ郡農會技術員ヲシテ實地指導セシムルト共ニ獎勵方法トシテ同會ハ堆肥舍ヲ建設シタルモノニハ一ヶ所金拾圓ヲ補助シツ、アリ

口 畜 産

牧畜ハ農業ト密接ノ關係ヲ有シ牛馬豚何レモ獎勵ノ必要ヲ認メラル、モ尙管内氣候及地勢ノ狀態牛馬蕃殖ニ適スルヲ以テ其用途ニ適スル種類ノ蕃殖ヲ計ルハ至當ト認メ之レカ指導機關タル網走外三郡產牛馬組合ト協力獎勵指導スル所アルモ未タ顯著ナル實績ヲ舉クルニ至ラス然レトモ現在實施シアルモノ左ノ如シ
一、官有種牡牛馬ノ貸下及產牛馬組合有種牡馬ヲ管内各所ニ適當ニ配置シ以テ產牛馬ノ獎勵ヲ爲セリ而シテ毎年春期ニ於テ吏員又ハ組合員ヲ派シ種付ノ狀況及飼養管理ノ方法ヲ監督シ產牛馬ノ改良蕃殖ニ資センコトヲ期セリ現今官有種牡牛馬ヲ貸下ケタルモノ馬政局ヨリ四頭北海道應種畜場種馬三十九頭牛四頭組合有馬三頭ニシテ計四十頭其他民有種牡馬三十七頭ニ達セリ
右ノ外本年ヨリ網走町及上湧別ノ二ヶ村ニ十勝種馬所ヨリ種牡馬各二頭ノ出張種付ヲ請ヒ產牛馬組合ヲシ

テ專ラ其事ヲ擔任セシメタルカ結果產馬事業ニ尠カラサル効果ヲ與ヘタルヲ認メ出張交尾所増設ニ關シ計畫中ナリトス

二、家畜衛生狀態ヲ良好ナラシメンカ爲メ產牛馬組合ヲシテ獸醫ヲ置カシム現今配置シタル箇所滑滑紋別上湧別網走ノ四ヶ處トス

三、畜産短期講習會削蹄講習會ヲ開キ畜産ニ關スル智識ノ普及及並ニ斯業ノ改善ヲ圖ルニ努メ大正元年十月紋別郡下湧別村ニ於テ畜産短期講習會ヲ開キタルカ其効果ヲ具體的ニ記述スル能ハサルモ削蹄實習ノ如キハ其修得シタル技能ヲ實地ニ應用セラレ其ノ利益ノ尠カラサルヲ認ム

四、競馬會ヲ獎勵シ每歲各所ニ施行ス又糶市場ヲ開催シ賣買相互ノ便益ニ供セリ

ハ 蠶 業

管内氣候風土蠶業ニ適スルノミナラス到ル處野桑ニ富ムヲ以テ斯業ノ獎勵ハ最モ重要事項トシテ常ニ獎勵ヲ怠ラサルモ現今農家ノ狀態トシテ農蠶兼業ハ甚タ難事ニ屬シ從ツテ發達ノ程度遲々タリト雖トモ先年紋別郡紋別村ニ開設シタル養蠶傳習ノ如キハ時機ニ適シタル施設ニシテ其後毎年飼育戸數増加スルヲ見ルモ相當ノ成績ヲ舉ケ居ルモノト認メラル其他地方費補助ヲ受ケ居ル稚蠶共同飼育所殺蛹乾燥場蠶業教師桑園等アリト雖トモ大正二年度ニ於ケル施設ハ常呂郡野付牛村農會ニ於テ養蠶教師ヲ雇入レ村内養蠶家ヲ巡回シ催青ヨリ掃立上簇ニ至ル迄テ實地指導並ニ桑樹栽培蠶病豫防法等ヲ教授セリ右ハ四十四年末ノ繼續ニシテ其成績良好ナリ

第二 農事改良上成績顯著ニシテ特ニ注意スヘキ事項

該當事項ナシ

宗谷支廳管内

第一 農事獎勵及狀況

イ 農 業

當管内ハ水産物豐富ニシテ從來漁業ヲ以テ生業ノ主タルモノトセリ爲ニ農業ハ遅々トシテ振ハサリシモ一稷千金ノ漁業時ニ一舉祖先傳來ノ遺産ヲシテ空シク水泡ニ歸セシムルカ如キコト尠カラサルト近年不漁續ナリシトノ結果漁民ヲシテ寧ロ農業ノ安全確實ナルニ如カサルノ念慮ヲ惹起セシムルニ至リ逐年薄漁不穫ノ萬一ニ備ヘントスル主漁副農の農業經營者ノ數益多キヲ加フルニ至レリ加之當管内ノ氣候風土能ク農耕ニ適セルノ結果他管内又ハ道外各地ヨリノ移住者次第ニ増加ノ趨勢ヲ示セル等片時モ農事獎勵ノ忽諸ニ附スヘカラサルヲ認メ極力指導獎勵ニ努メタル結果今ヤ各町村共一般ニ相當施設計畫スル所アルニ至レリ其ノ概要左ノ如シ

第一 農會ノ設立獎勵

郡町村農會ノ系統的設立組織ヲナサシメ農事改良上ニ貢獻セシメントシ各町村ニ其設立ヲ獎勵シタル結果今ヤ鬼脇村ヲ除クノ外農會ノ設立ヲ見ルニ至レリ而シテ其既設農會ニ對シテハ施設計畫上ニ付夫々指導シタル結果別紙記載ノ事業ヲ爲シ斯業改良上夫々貢獻スル所アリタリ

第二 種苗ノ村費購入

馬鈴薯、燕麥、大根、大麻、帚蜀黍等ノ種子及薄荷苗等ヲ村費ヲ以テ購入シ各當業者ニ無代配布ヲナシ種苗ノ改良品種ノ普及ニ努メタリ

第三 種苗圃ノ設置

種苗圃ヲ設置シテ馬鈴薯燕麥等管内主要農作物ノ品種改良ヲ企畫シ前記購入種苗ノ一部分ヲ該圃場ニ耕種シ其生産種子ヲ當業者一般ニ配與シ以テ品種ノ改良種苗ノ普及ニ勉メタリ

第四 試作地ノ設置

試作地ヲ設置シ大麻帚蜀黍、薄荷其他ノ試作ヲナシ以テ新作物耕種方法ヲ周知セシムルト同時ニ其新作物ノ適否ヲ試験シ收益多キ新作物ノ發見ニ努力シタリ

第五 病虫害驅除豫防施設

農作物病虫害ニ對シテハ噴霧器其他必要ナル器具ヲ購入シ之ヲ村民ニ無償貸付シ害虫驅除ニ病害ノ豫防ニ其實行ヲ促シ以テ當業者ノ共同驅除豫防ニ資シ生産ノ減耗防遏ニ努メタリ
其他捕獲虫卵ノ村費買上藥品ノ共同購入又ハ村費買入ヲナシ専ラ害虫病菌ノ根絶ヲ期セリ其結果馬鈴薯疫病又ハ大瓢虫ダマシノ爲メニ被ル損害ヲ免カレシコト年額數千圓ノ多キニ達セリ

第六 堆肥ノ獎勵

從來無肥料耕作ヲナシ掠奪的農法ニ慣レタルノ結果當業者ハ一般ニ施肥ノ觀念ナク爲メニ逐年地力ノ減耗ヲ來セルニヨリ堆肥、厩肥ノ製造獎勵ヲナシ以テ地力ノ維持生産ノ増進ヲ期セリ

第七 品評會ノ開設

廣ク農産物ヲ募リテ一堂ノ下ニ蒐集シ彼此對照比較審査ヲ遂ケ其優ヲ賞シ劣ヲ勵マシ進ンテ出品農産物ニ對スル耕種肥培ノ指導講話ヲ爲シ以テ農業者ノ智能啓發ニ努メタリ其結果當業者農藝ノ進歩ノ見ルヘキモノアリタリ

第八 農事講話及講習

毎年農閑ノ期ヲ利用シ農事ニ關スル講習講話ヲ開催シ通俗ナル農業教育ノ普及ヲ企畫セリ

口 蠶 業

蠶業ニ付テモ同前町村及農會ニ對シ常ニ之カ督勵ヲ加ヘタルノ結果左記施設ヲ見タリ

第一 蠶種ノ村費購入

村費ヲ以テ優良蠶種ヲ購入シ當業者ニ無代配布シ飼育セシメ養蠶業ノ進歩發達ヲ期セリ

第二 稚蠶共同飼育所ノ設置

蠶業教師ヲ雇聘シ稚蠶共同飼育所ヲ擔任セシメ三齡ニ達シタルトキ各飼育家ニ分配シタリ其結果成績優良ナルヲ得タリ

第三 蠶業教師ノ雇聘

前記ノ外町村ニヨリテハ單ニ蠶業教師ヲ雇ヒ飼家ヲ巡回シテ蠶業指導ヲナサシメタリ

ハ 畜 産

畜産ニ付テモ前同斷ノ如ク常ニ獎勵ヲ怠ラス殊ニ産牛馬組合ノ基礎ヲ鞏固ナラシメ活動ヲ促サントシテ枝幸産牛馬組合ノ如キハ村費ヨリ經費ヲ補助セシメ町村及同農會産牛馬組合等各方面ヨリ之カ改良増進ニ企畫スル所アラシメタリ

第一 種 鶏 種 卵

種鶏種卵ノ村費購入ヲナシ之ヲ村民ニ無償貸付ヲナシ養鶏業ノ發達ヲ計レリ

第二 馬 匹 ノ 去 勢

極力獎勵ノ結果從來之ヲ忌避シタル當業者モ漸次之ヲ實施スルモノアルニ至レリ
其他林業ニ付テモ相當獎勵ヲ怠ラサリシト雖トモ未タ天然林産物ノ豊富ナルヨリ宗谷、枝幸、兩郡方面ニア

リテハ何等施設ノ見ルヘキモノナカリシモ既ニ林産物ノ缺乏ヲ告ケタル利尻郡方面ニアリテハ植樹又ハ苗圃等ノ計畫ヲナスニ至レリ又椎茸栽培ニ付テハ管内一般各町村ニ獎勵シタリ

第二 四十五年中農事改良上成績顯著ニシテ特ニ注意スヘキ事項

宗谷郡宗谷村ニテハ村内三ヶ所ノ種苗圃ヨリ生産セル種苗ヲ一般當業者ニ配付栽培セシメタルニ其成績頗ル優良ナリシ

香深村及利尻郡各村ニアリテハ村費ヲ以テ馬鈴薯ノ優良品種ヲ購入シ之ヲ無代配布シタルニ其結果當業者栽培ニ係ル馬鈴薯品種ノ改良收穫等著敷増進ヲ見タリ

各農會ノ事業概要

鷺泊村農會 技術員ノ設置農事調査、農事指導、品評會開設、農事試験、改良農具購入、優良種苗ノ購入、病虫害驅除

仙法志村農會 農事試作、優良種苗購入補助、種禽場設置副業獎勵、品評會開設、病虫害驅除

杏形村農會 品評會開設、農産試験、農事講習講話

宗谷村農會 農事講話會、病虫害驅除豫防、農事試作改良農具購入及優良種子購入補助

増毛支廳管内

第一 農事獎勵及狀況

イ 農 業

農事獎勵事項

管内産業ノ既往數年前ハ主漁從農ニシテ農事ハ不振ノ状態ニアリシカ當廳ハ諸般ノ指導獎勵ニ銳意努メ大正
元年末ニ於テハ畑地(桑畑果樹)二萬二千二百七十四町步餘生産額一〇九萬三千六百七十五圓ニ達シ是レヲ過
去五年前明治四十年末ノ夫レニ比スレハ畑地四千〇六十町步即チ約五倍生産額ノ三十二萬四千八百餘圓即チ
約三倍強ノ増加ヲ見ル就中水田ニ於テハ明治四十年末ニ僅カニ八町六反ニ過キサリシニ大正元年末ハ四百四
十六町九反步餘實ニ五十五倍ノ劇増ニシテ長足ノ發達ヲ見ルニ到レリ然レトモ農民一般未タ全ク因襲的陋
習ヲ脱セス斯道ノ智識技藝ニ乏シク改良ヲ促シ進歩ヲ計ル點多々有之ヲ以テ左記事項ニ付キ郡町村ヲ促シ獎
勵シツ、アリ

第一 厩肥堆肥ノ使用

管内農家總戸數現在數七、二八八戸ニシテ家畜ノ現在數馬五、三二四頭牛一四五頭計五、四六九頭ニシテ内牧
畜業所有馬九七四頭牛一二七頭アルヲ以テ是レヲ控除セル殘數ヲ農家飼育數ト見做スモ七、二八八戸對四、三
九三頭ハ約六分頭ニ算出スルヲ以テ厩肥使用反別僅少ナルヲ以テ勢ヒ人力肥料使用増加ノ傾キ有リ大正元年
中ニ於ケル購入數二萬二千七百噸ニ達ス依テ昨年度肥料共同購入ヲ獎勵シ組合ヲ設置シ購入セルモノニケ所
數三千三百噸ニシテ成績良好漸次共同購入法ニ依ルニ至ルヲ信ス

第二 勞力配分法指導

印刷ニ付シ普ク農家ニ配付セシメ農家集合ノ機ヲ利用シ講話指導シツ、アリ

第三 種子共同購入獎勵

管内品種ハ一小部落ニ在リテ尙ホ且ツ不統一ニシテ輸移出ニ當リ其ノ階級數多ニ亘リ高低ノ價格懸隔ヲ生シ
地方特産物トシテ見ルヘキモノ無之キヲ以テ品種ノ統一ヲ計ルト共ニ主作物ノ栽培ヲ獎勵ス

第四 品評會獎勵

大正元年度ニ於ケル立毛品評會開催ハ増毛町、苦前村、羽幌村、初山別村、遠別村、五ヶ所農産品評會鬼鹿

村一ヶ所

第五 農事講習會獎勵

大正元年度中開催セルモノ留前町、苦前村、羽幌村、遠別村ノ四ヶ所

第六 剪枝指導

郡農會ハ協力シ同會技術員ヲシテ増毛町、留前町、鬼鹿村、苦前村、羽幌村等ニ於テ果樹栽培及剪枝獎勵ノ
實地指導ヲナサシム

第七 害虫驅除豫防獎勵指導

留前町、鬼鹿村、苦前村、羽幌村、初山別村ニ本廳農業技手一回、支廳技手一回、郡農會技術員一回、第六
農區駐在農業技手二回(天鹽郡ニ亘リ)派遣ス

第八 椎茸栽培獎勵

當別村初山別村ハ天然生椎茸ノ產出多ク椎茸栽培ニ好適地タルヲ以テ之レカ栽培ヲ獎勵セリ

口 畜 産

農業ノ進歩發達ニ伴ヒ畜産業ハ長足ノ進歩ヲ見明治四十年末ニ僅カニ馬二、九七一頭ナリシカ大正元年末
ニハ五、四四〇頭ニ達シ産牛馬組合ヲ促シ改良發達ヲ謀リ種牡牛馬ノ貸付ヲ受ケ民有牝馬ニ配合セシメ逐次
改良ノ緒ニ付キ四十年末ニ於テ洋種僅カニ一頭ナリシモ今ヤ百十八頭ノ多キニ達シ牛畜ニアリテハ肉用専用
ノ目的ニテ南部牛ノ蕃殖ニ從ヒシモ近年乳用ヲ稱呼スルノ趨ヲ來シ大正元年中ニ消費セル乳量留前、増毛、
兩町ニテ七十四石餘ニ達シ又肉ノ需要漸次増加シ今年屠殺數牛五二頭、犢九頭馬三二頭、豚七三頭ニシテ留
前町羽幌村ノ二ヶ所ニ於ケル屠殺場調ニシテ之等ノ生肉ハ地方消費五分ニ深川、旭川ニ移出五分ノ割合ニシ
テ從前小樽、旭川ヨリノ移入ハ之レカ爲メ防止セラレ斯業ノ前途好望ノ域ニ進ミツ、アリ今大正元年ニ於ケ

ル獎勵事項ヲ左ニ舉クレハ

第一 軍馬購買
留萌町ニ開設シ出場馬、五三頭假合格八頭ニシテ合格セルモノ五頭價格九百餘圓ニシテ第一回購買トシテ良好ノ成績ヲ收メタリ

第二 優良牝馬ノ賞表
産牛馬組合ニ獎勵規程ヲ設ケシメ優良牝馬ヲ賞表セシム

第三 競馬獎勵
競馬ヲ獎勵シ優勝馬ニ組合ヨリ授賞セシム

第四 馬匹去勢獎勵

夙ニ指導獎勵ヲ怠ラサルモ良好ノ成績ヲ得サルハ遺憾トス是レ馬匹所有者ハ一般ニ去勢馬ハ氣力ニ乏シキカ如ク思考シ未タ多少ノ嫌厭スルモノアルニヨル
大正元年中畜産生産額ハ總二〇、六四二圓餘ニ達シ漸次増加ノ趨勢ヲ示ス

ハ 蠶 業

養蠶ハ農家副業ノ主位ニ立チ専ラ獎勵ニ努メ大正元年度ノ生産額一萬一千廿二圓餘飼育戸數七四八戸收購三百八十石ニシテ氣候供用葉ノ關係上年ニ一高一低ヲ示スモ飼育者ハ各府縣移民ニシテ各其郷土ノ飼養上ノ習慣ニ慣レ本道ノ氣候、風土ヲ考慮セス從ヒテ往々多少ノ失敗ヲ招クモノナキニ非ス是等ハ將來ノ發達ヲ阻害スル不尠ル原因タルヲ以テ各地ニ巡回講師ヲ雇聘セシメ實地ニ就キ懇切周到ニ指導ヲナサシメ尙野桑減退ニツレ葉ノ不足ヲ來スヤ必然タルヲ以テ養蠶獎勵ノ第一着手トシテ桑樹ノ栽培ヲ獎勵シ每歲桑苗ノ配付ヲ受ケシメ一面親木圃ノ設置ヲ促シ補助桑園ヲ獎勵シ野桑ノ保護ニ力ヲ用ヒ各戸居宅ノ周圍及圃場ノ周圍ニ多少

ニ不係桑樹ノ栽培ヲナサシメ大正元年中ニ於テ桑畑二百七十二町三反ノ増加ヲ見補助桑園七ヶ所六町二反歩ニ達ス今大正元年中獎勵セル事項ヲ舉クレハ左ノ如シ

一、桑樹栽培獎勵

無償配付桑苗一、九〇〇本

親木圃一ヶ所三反歩

補助桑園七ヶ所六町二反歩

一、巡回教師雇聘獎勵

巡回教師設置七ヶ所、増毛、留萌、鬼鹿、苫前、羽幌、初山別、遠別

一、殺菌乾燥場設置

二ヶ所設置

一、共同販賣獎勵

從來各個ニ於テ商人ト取引ヲ行ヒタルモ共同販賣一度行レタル以來此方法ニ寄依スルモノ日ニ増加ノ傾向ヲ來シ成績良好ナリ

一、機械獎勵

機業補助規程ニヨリ機業ニ從事スルモノ十三人良好ノ成績ヲ收メツ、アリ

其他 林業

管内ノ木材ハ夙ニ名聲アリ海外並ニ内地各方面ニ輸出シ農業ト相俟テ地方經濟上重要ノ地位ニアリ從來個人ノ弊害ヨリ相互ノ利益ヲ減殺シ發展ヲ阻害スル不尠ルヲ以テ同業組合ノ設置ヲ獎勵シ斯業ノ發達ヲ促ス尙沿岸ノ山野連年伐採ノ結果ハ一昨年山火ノ爲メ殆ント禿山トナリ水害及漁業ニ至大ノ影響ヲ來スヲ以テ植樹ヲ獎勵シ百四十二町歩ハ已ニ植栽終了シ尙植樹ノ目的ニヨリ企畫シ植栽シツ、アルモノ千九百二十八

第二 大正元年度獎勵事項中特殊ノ事績

特ニ擧クヘキモノナシ只拓殖博覽會出品授賞、藝臺、金牌一個、小麥、燕麥、銅牌一個宛繭、褒賞一、明治紀念拓殖博覽會出品中授賞、藝臺、金牌一個、同銅牌一個、其ノ他稈麥、大豆、馬鈴薯ハ褒賞各一ヲ得タリ

函 館 區

第一 農事獎勵及狀況

イ 農 業

逐年戸口ノ増殖ヲ示シ、アル當區ハ漸次農耕地、宅地、其ノ他ニ變更シツ、アルノ狀勢ナレハ農事獎勵事項トシテ記載スヘキモノナシ

ロ 蠶 業

前年報告ノ通りニシテ之亦記載事項ナシ

ハ 畜 産

函館區産牛馬組合經營ニ係ル定期家畜市場ハ開設以來不振ノ狀態ヲ持續スルニ至リシヨリ之レヲ常設ニ變更スルノ必要ヲ認メ遂ニ昨年十二月末ニ至リ北海道廳ノ許可ヲ得テ常設市場ニ變更シ専ラ當業者ノ利用上ニ資スル所アリシモ之亦不振ノ狀況ナリ其他組合ハ昨年五月農商務省ヨリホルスタイン種、デコール廿一世號ノ

貸付ヲ受ケ現今組合所有種牡牛二頭、種牡馬二頭ヲ有シ組合員内外ノ牝牛馬ニ交尾シ主トシテ畜産事業ノ改良發達ニ資スル所アリ又組合ハ毎年牛ノ肥滿法ヲ實際ニ試ミ其ノ結果良好ナルヲ以テ漸次飼養者ニ普及スルノ方針ナルカ如シ

第二 四十五年度中(大正元年)農事改良上成績顯著ニシテ

特ニ注意スヘキ事項

特ニ記スヘキ事項ナシ

札幌區、小樽區ハ該當事項ナシ

町村名	團體數	人員	金額	種類	數量
岩見澤町	四	一五一	三、九二九・九四〇	米 鯀 過 種 磷 酸 石 類 糠 粕 灰	二、〇六五 二四〇 六八八 枚
長計	八	二四一	四、一九四・七五〇	魚 過 種 汁 磷 酸 石 類 粕 灰	一、一六〇 八七〇 枚
深川村	二	八〇	一、三九四・七五〇	鯀 過 種 磷 酸 石 類 粕 灰	九六一 五五九 枚
岩見澤町	一	四三	八三四・〇〇〇	過 種 磷 酸 石 類 灰	六四〇 枚
合計	二九	二、三七八	二八、五七二・六四〇	大豆 磷 酸 石 類 粕 糠 粕 肥 酸	六、八八〇 一、二三六 枚
合計	三六	二、六一五	三五、七一一・三五〇	大豆 磷 酸 石 類 粕 糠 粕 肥 酸	二、一〇〇 二八〇 枚

空知支廳管内

(大正元年秋期)

同

(大正二年春期)

町村名	團體數	人員	金額	種類	數量
惠庭村	二	八〇	二、三八一・〇〇〇	大豆 磷 酸 石 類 粕 糠 粕 肥 酸	一、〇〇〇 一〇〇〇 枚
新篠津村	二	二九	五一六・八八〇	大豆 磷 酸 石 類 粕 糠 粕 肥 酸	三、六四〇 枚
常別村	四	一、四一〇	五、九五〇・八五〇	大豆 磷 酸 石 類 粕 糠 粕 肥 酸	二〇、七六〇 六〇〇 四、三九〇 枚
江別村	七	四二〇	三、一三〇・一〇〇	大豆 磷 酸 石 類 粕 糠 粕 肥 酸	一、二四〇 八六二 五一枚
廣島村	三	八七	三、六〇〇・四〇〇	大豆 磷 酸 石 類 粕 糠 粕 肥 酸	一、〇八九 二、〇五〇 枚
琴似村	三	一〇九	五、四五〇・〇〇〇	大豆 磷 酸 石 類 粕 糠 粕 肥 酸	七六〇 七六〇 三二五 枚
手稻村	一	三九	六八五・五二〇	大豆 磷 酸 石 類 粕 糠 粕 肥 酸	二、四〇〇 六、二一〇 枚
篠路村	三	七一	二、五三〇・〇〇〇	大豆 磷 酸 石 類 粕 糠 粕 肥 酸	二、〇〇〇 二、〇〇〇 枚
合計	二九	二、三七八	二八、五七二・六四〇	大豆 磷 酸 石 類 粕 糠 粕 肥 酸	九、九七〇 二、〇〇〇 二、〇〇〇 枚
合計	三六	二、六一五	三五、七一一・三五〇	大豆 磷 酸 石 類 粕 糠 粕 肥 酸	二、一〇〇 二八〇 枚

幌 向 村	沼 貝 村	砂 川 村	江 部 乙 村	歌 志 内 村	由 仁 村	深 川 村	秩 父 別 村	一 巳 村
四	二	一	二	一	一	二	五	六
六一	四七	七三	六九	二一	二〇	八四	七八五	九二
一、五六三・二三〇	二、二九七・〇〇〇	一、一四七・五〇〇	一、一〇三・〇〇〇	三九一・五〇〇	一四四・四五〇	一、二一六・八二〇	二、〇六五・〇〇〇	五五四・二〇〇
過 磷 酸 石 灰	過 磷 酸 石 灰	過 磷 酸 石 灰	過 磷 酸 石 灰	過 磷 酸 石 灰	過 磷 酸 石 灰	過 磷 酸 石 灰	大 豆 粕	過 磷 酸 石 灰
一、一七五	三、〇三〇	三、〇三〇	七二八	一五〇	四〇〇	五五四	二、一〇〇	一三〇

合 計	二八 三六	一、四〇三 一、六四四	一四、四一二・六六〇 一八、六〇七・四一〇
--------	----------	----------------	--------------------------

上川支廳管内

(大正元年秋期)

町 村 名	東 川 村	劔 淵 村	計
團 体 數	八	一五	二三
人 員	二〇二	一〇三	三〇五
金 額	九、七九四・九五〇	一、七三九・〇〇〇	一一、五三三・九五〇
種 類	管 ア 過 ル カ リ	過 ル カ リ	ア 過 ル カ リ
數 量	二、一四九 三二、九五〇 一六、三四〇	九〇〇	三六〇

備考 劔淵村ノ數量單位一噸ハ七〇五百々トス
同 (大正二年春期)

町 村 名	神 樂 村
團 体 數	二
人 員	九四
金 額	七、八五五・〇〇〇
種 類	同 過 磷 酸 石 灰 粕
數 量	二〇、二三〇 五〇〇 三、四五六 三、九四三

永山村	美瑛村	東川村	比布村	上富良野村	劍淵村	士別村	多寄村	合計
三	一	二	一	一	二	二	二	五八
八八	一五〇	四八	二八	一五	一二四	五八	六九	九七九
六、七八一・七八〇	六、一八〇・〇〇〇	二、九八四・〇五〇	九六七・二七〇	四四五・〇〇〇	一、九二三・〇〇〇	二、七五三・〇〇〇	二、九〇〇・〇〇〇	四四、三三三・〇五〇
大豆	厩肥	厩肥	厩肥	厩肥	厩肥	厩肥	厩肥	厩肥
五二三	四七七	二六〇	一四、〇〇〇	一、八七五	五、〇〇〇	九、四五〇	二、八〇八	一、〇五〇
六四	二六〇	一、八七五	三、六四〇	一、〇〇〇	四、五〇〇	七、六五〇	一、一三四	一、七、八〇〇

備考 劍淵村ノ數量單位一呎ハ七貫五百匁トス

後志支廳管内

(大正元年秋期)

町村名	團體數	人員	金額	種類	數量
小澤村	一	二五	五八三・九六〇	鯨	一、四六〇貫
真狩村	二	八八	九六〇・八〇〇	過磷酸石灰	二八〇呎
樽岸外一村	一	三六	三七一・六〇〇	同	三〇二呎
黑松内村	一	八七	一、六二〇・〇〇〇	同	一、二〇〇呎
合計	三	二三六	三、五三六・三六〇		
大江村	二	五七	二、五二五・〇〇〇	過磷酸石灰	二〇、七五〇貫
赤井川村	二	三〇	一、〇八〇・〇〇〇	同	八九〇呎
小澤村	一	二一	九五二・四一三	雜魚	一、五九一貫
俱知安村	二	一八七	七、一四三・三九〇	同	二四〇貫
真狩村	三	一三四	六四四・四〇〇	同	三九、一七七貫
黑松内村	二	一〇八	一九五七・〇〇〇	同	一、〇八〇貫
熱郭外一村	二	八五	三四八・八〇〇	同	二、六一〇貫
合計	二	八五	三四八・八〇〇		

同

(大正二年春期)

合計	二三	六二二	一四、六五一・〇〇三		
	三六	八五八	一八、一八七・三六三		

檜山支廳管内 (大正元年秋期)

町村名	團體數	人員	金額	種類	數量
厚澤部村	一	一二	七七・〇〇〇	過磷酸石灰	五五噸
太櫓村	一	四	一二・七〇〇	同	一〇噸
計	二	一六	八九・七〇〇		

備考 其他町村ニハ共同購入セルモノナシ
同 (大正二年春期)

町村名	團體數	人員	金額	種類	數量
厚澤部村	三	九〇	四〇八・〇〇〇	過磷酸石灰	二四七噸
乙部村	一	四〇	二八三・五〇〇	過磷酸石灰	二五〇噸
太櫓村	二	八	三八・一〇〇	同	二一〇噸
東瀬棚村	七	一四二	一、九八二・九六〇	過磷酸石灰	三五噸
計	一三	二八〇	二、七一二・五六〇		

合計	一五	二九六	二、八〇二・二六〇		
----	----	-----	-----------	--	--

備考 其他町村ニハ購入セルモノナシ
函館支廳管内 (大正元年秋期)

町村名	團體數	人員	金額	種類	數量
雨垂石村	一	六	七五・〇〇〇	過磷酸石灰	五〇噸
上飯村	一	八	五二・五〇〇	同	三七五噸
七田村	三	五五	二九三・〇〇〇	同	一、八七五噸
龜計村	一	三五	六六四・〇〇〇	同	四、〇〇〇噸
計	六	一〇四	一、〇一七・〇〇〇		

同 (大正二年春期)

町村名	團體數	人員	金額	種類	數量
雨垂石村	一	四	四・五〇〇	過磷酸石灰	三〇噸
福島村	一	四	六・〇〇〇	同	三〇噸
木古内村	一	六	四〇・八〇〇	同	二五五噸
上磯村	一	三八	五二五・〇〇〇	同	三、七五〇噸

町村名	團體數	人員	金額	種類	數量
七飯村	三	五五	三七〇・〇〇〇	過磷酸石灰	二、四〇四貫
龜田村	二	五五	一、三二八・〇〇〇	同	八、〇〇〇貫
森村	一	四七	一、一八四・五〇〇	同	二、〇〇〇貫
八雲村	一	四二〇	二、九二四・九五八	大過磷酸石	四〇、一四〇貫
長萬部村	一	一二	五五・〇〇〇	大豆	八、九二五枚
合計	三〇	七四五	二六、四五五・七五八	大豆粕	三四枚

室蘭支廳管内

(大正元年秋期)

町村名	團體數	人員	金額	種類	數量
安平村	二	八三	一、二一五・二八〇	多木肥料	八〇〇畝
合計	二	八三	一、二一五・二八〇	粕料	二五貫

備考 多木肥料ハ四月ヨリ十月迄七ヶ月間無利子借入

同

(大正二年春期)

町村名	團體數	人員	金額	種類	數量
輪西村	一	二二	五二六・〇〇〇	過磷酸石灰	四二四畝
安平村	一	二五	二六八・二五〇	多木肥料	一八五畝
合計	二	四七	七九四・二五〇		

河西支廳管内

(大正元年秋期)

町村名	團體數	人員	金額	種類	數量
本別村	一	二四	六九五・〇〇〇	日本肥料過磷酸	五五六畝
合計	一	二四	六九五・〇〇〇		

同

(大正二年春期)

町村名	團體數	人員	金額	種類	數量
芽室村	五	一二八	四、七七三・〇〇〇	過磷酸石灰	三、八三九畝
帶廣町外四村	二	五三	一、八七三・〇〇〇	同	一、四二一畝
音更村	二	四九	一、八三一・〇〇〇	日本肥料過磷酸	一、四七五畝
幕別村	一	七六	三、七六三・〇〇〇	魚印過磷酸石灰	二、九四〇畝
川合村	七	八一	一、〇一二・〇〇〇	過磷酸石灰	八九〇畝
本別村	二	五八	一、四九〇・〇〇〇	日本肥料過磷酸	一、四九〇畝

合計	一九 二〇	四四五 四六九	一四、七四二・〇〇〇 一五、四三七・〇〇〇		
----	----------	------------	--------------------------	--	--

釧路支廳管内

(大正二年春期)

町村名	団体數	人員	金額	種類	數量
太田村	一	四〇	九三・六〇〇	精過磷酸石灰	七二噸
弟子屈村	一	四五	不詳	過磷酸石灰	一〇噸
合計	二	八五	九三・六〇〇		

備考

- 一、大正元年秋期ノ購入ナシ
- 二、太田村共同購入ノ団体ハ太田村農會ナリ
- 三、弟子屈村金額ノ不詳ナルハ釧路町ヘ注文セシモ未着ノ爲メナリ

網走支廳管内

(大正元年秋期)

町村名	団体數	人員	金額	種類	數量
渚滑村	一	一五	一三〇・〇〇〇	特許過磷酸石灰	一〇〇噸
合計	一	一五	一三〇・〇〇〇		

同

(大正二年春期)

町村名	団体數	人員	金額	種類	數量
網走町	二	九	七六・五〇〇	過磷酸石灰	八五噸
常呂村	一	四二	四二八・〇〇〇	特許過磷酸石灰	三三〇噸
野付村	八	一八五	八三二・〇〇〇	過磷酸石灰	九〇〇噸
雄武村	一	三〇	一八・〇〇〇	同	一五噸
合計	一二	二六六	一、三五四・五〇〇		
合計	一三	二八一	一、四八四・五〇〇		

増毛支廳管内

(大正元年秋期)

町村名	団体數	人員	金額	種類	數量
苫前村	一	一一八	三六一・二〇〇	アルカリ肥料	三〇一噸
羽幌村	六	一五六	四三八・〇〇〇	強過磷酸石灰	一一〇噸
合計	七	二七四	七九九・二〇〇	一號過磷酸石灰	一一〇噸

同

(大正二年春期)

町村名	團體數	人員	金額	種類	數量
町村名					
苦前村	二	二五七	二、一〇九・八〇〇	アルカリ肥料	一、一六五噸
羽幌村	二	二〇六	一、八八〇・〇〇〇	一號過磷酸石灰	六一五噸
合計	四	四六三	三、九八九・八〇〇	中性過磷酸石灰	二〇〇噸
總計	二六一	八、七九九	一六九、九〇七・八二一		八〇〇噸

備考
 札幌區、小樽區、函館區及浦河支廳、宗谷支廳、根室支廳ノ三區三支廳管内ニハ該當事項ナシ

三 北海道拓殖銀行肥料貸付町村別調 (大正二年六月三十日現在)

本店取扱分

町村名	肥料種類	數量	貸付金額	貸付人員	貸付口數	備考
札幌村	過磷酸石灰	一、七二一噸	二、五六五・〇〇〇	一〇八	三	肥料ノ單價ノ便宜ノ爲メ
魚汁粕	魚汁粕	八四七袋	二、七一〇・〇〇〇			肥料ノ單價ノ便宜ノ爲メ
米糠粕	米糠粕	一八袋	一八〇・〇〇〇			肥料ノ單價ノ便宜ノ爲メ
大豆粕	大豆粕	五八袋	一〇四・〇〇〇			肥料ノ單價ノ便宜ノ爲メ
大豆	大豆	二、一〇〇噸	三、〇九五・〇〇〇	八八	二	肥料ノ單價ノ便宜ノ爲メ
過磷酸石灰	過磷酸石灰	六五〇噸	一、一七〇・〇〇〇			肥料ノ單價ノ便宜ノ爲メ
米糠	米糠	四五袋	四五〇・〇〇〇			肥料ノ單價ノ便宜ノ爲メ
硫酸アンモニア	硫酸アンモニア	一二〇貫	九〇・〇〇〇			肥料ノ單價ノ便宜ノ爲メ
過磷酸石灰	過磷酸石灰	一、六九〇噸	二、六六一・〇〇〇	六二	三	肥料ノ單價ノ便宜ノ爲メ
米糠	米糠	四八〇袋	四二六・〇〇〇			肥料ノ單價ノ便宜ノ爲メ
過磷酸石灰	過磷酸石灰	二、三七一噸	三、三一八・〇〇〇	六六	三	肥料ノ單價ノ便宜ノ爲メ
鯨鱗酸石	鯨鱗酸石	一、〇八九貫	五九九・〇〇〇			肥料ノ單價ノ便宜ノ爲メ
過磷酸石灰	過磷酸石灰	九九一噸	一、二七八・〇〇〇	二七	一	肥料ノ單價ノ便宜ノ爲メ
管目	管目	二〇貫	七〇〇・〇〇〇			肥料ノ單價ノ便宜ノ爲メ

小 澤 村	赤 井 川 村	大 江 田 村	蛇 田 西 村	輪 西 村	長 沼 村	由 仁 村	江 部 乙 村	砂 川 村
鯿	同	同	同	過 磷 酸 石 灰	下 磷 酸 石 灰	過 磷 酸 石 灰	硫 酸 ア ン モ ニ ア	鯿 粕
一、〇九五貫	二四〇貫	九六〇貫	二〇一〇貫	四三四貫	八〇〇荷	四二二貫	五貫	一五貫
四三八〇〇〇	三〇〇〇〇〇	一一〇〇〇〇〇	二、五二五〇〇〇	五五一〇〇〇〇	三二〇〇〇〇	五四五〇〇〇	四〇〇〇〇	八〇〇〇〇
二一	二四	五七	二〇	二一	九五	二〇	六九	三六
一	一	二	一	一	四	一	二	一

沼 貝 村	岩 見 澤 町	生 振 村	常 別 村	江 別 村
油 米 大 鯿	過 磷 酸 石 灰	鯿 酸 石 灰	過 磷 酸 石 灰	過 磷 酸 石 灰
一、二貫	九五貫	二七貫	二、八一貫	三四〇貫
一〇四〇〇〇〇	四九〇〇〇〇	一、六一二〇〇〇	四八〇〇〇〇	五〇〇〇〇〇
四七	二〇	五一	一一〇	四四
二	一	二	四	一

油 米 大 鯿	過 磷 酸 石 灰	鯿 酸 石 灰	過 磷 酸 石 灰	過 磷 酸 石 灰
一、二貫	九五貫	二七貫	二、八一貫	三四〇貫
一〇四〇〇〇〇	四九〇〇〇〇	一、六一二〇〇〇	四八〇〇〇〇	五〇〇〇〇〇
四七	二〇	五一	一一〇	四四
二	一	二	四	一

町村名	肥料種類	數量	貸付金額	人貸員付	口貸數付	備考
中川郡本別村	過磷酸石灰	二、五九五畝	三、三四五〇〇〇	八三	三	
幕別村	同	二、八〇〇畝	三、五八四〇〇〇	七六	一	
芽室村	同	三、八四〇畝	四、八七五〇〇〇	一二八	五	
音更村	同	二、八三一畝	三、五九四〇〇〇	六四	三	
計			六二、五三三〇〇〇	一、三四七	四八	

旭川支店取扱分

町村名	肥料種類	數量	貸付金額	人貸員付	口貸數付	備考
東川村	過磷酸石灰	一、六〇四畝	一、九五〇〇〇〇	七七	三	
東川村	籐	一、六三八一貫	一、四七〇〇〇〇			
東川村	過磷酸石灰	一、〇六一、五貫	四三〇〇〇〇			
東川村	過磷酸石灰	一、六九八畝	二、〇〇三〇〇〇			
東川村	油粕	二、四七二貫	一、二三六〇〇〇			
東川村	大油粕	六四貫	一七〇〇〇	七六	二	
東川村	下豆	三〇二、五貫	七四〇〇〇			
東川村	過磷酸石灰	四七〇壘	四七〇〇〇〇			
東川村	過磷酸石灰	七〇〇△	八二六〇〇〇			
東川村	鯨	五七五貫	二八七、五〇〇			
計						

町村名	肥料種類	數量	貸付金額	人貸員付	口貸數付	備考
神樂村	籐	八、七五〇貫	二、六五四〇〇〇	七九	二	
神樂村	大米	一九〇俵	九五〇〇〇			
神樂村	大豆	五〇枚	八七、五〇〇			
多寄村	過磷酸石灰	二、八七三畝	三、三八八〇〇〇	七〇	三	
多寄村	同	一、一三四畝	一、三三八〇〇〇			
多寄村	同	一、一三四畝	一、四一五〇〇〇	五八	二	
多寄村	同	七六五枚	一七、七四一〇〇〇	三六〇	一	
計						

函館支店取扱分

町村名	肥料種類	數量	貸付金額	人貸員付	口貸數付	備考
八雲村	過磷酸石灰	二、六五畝	二九四〇〇〇	二〇〇	七	
八雲村	大豆	五、五八四枚	九、六八七〇〇〇	二〇〇	七	
計			九〇、二五五〇〇〇	一、九〇七	六七	
總計						

年次	数量		金額		コンデンスミルク		價額總計
	數量	價額	數量	價額	數量	價額	
四十四年	26,610	3,102	4,566	2,334			3,102
四十四年	25,276	3,055	3,093	3,676			3,055
四十四年	70,599	1,400	10,950	4,918	100,000	11,800	89,833
四十四年	83,860	6,110	15,181	6,833	100,000	11,800	151,771
四十四年	15,337	1,016	18,366	8,763	30,774	3,283	151,771
大正元年	26,610	3,102	5,618	2,643	35,577	6,116	3,102
計							

第四表 乳製品生産表

種類	洋種	内國産種	和種	雜種	計
数量	26,610	8,000	1,000	1,000	36,610
金額	3,102	1,000	1,000	1,000	6,102
コンデンスミルク数量	4,566	1,000	1,000	1,000	8,566
コンデンスミルク金額	2,334	1,000	1,000	1,000	5,334
價額總計	3,102	2,000	2,000	2,000	9,102

第三表二

種牡馬種類分布表

(大正元年度)

種類	支廳	札幌	空知	上川	後志	檜山	函館	室蘭	浦河	河西	釧路	根室	網走	宗谷	増毛	計
アラブ	!															!
サラブレッド	!															!
アンケロアラブ	!															!
ギドラ	!															!
トロツター	!															!
ハクニ	!															!
オーロフ	!															!
ロストブチン	!															!
サッドルホルス	!															!

函館	小樽	札幌	増毛	宗谷	網走
107	31	71	11	5	
34	1	1	2	1	
43		4	1	2	4
30	1	1	4	4	
18			1	1	
13				2	
8					
セルシー					
3					
256	4	3	1	5	3
5					

第五表 屠畜比較表

年次	牛	馬	羊	豚	計
大正元年	二、六九八	三、〇四三	九	六、七〇八	一一、四四八
十四年	三、六五六	一、九五九	三〇	五、五〇〇	一一、一五五
十四年	五、九一四	一、七二七	二二	六、四〇八	一四、〇七〇
十四年	七、四五四	一、七三七	一七	六、三三九	一五、五四七
十四年	七、六三一	二、一〇〇	一三	六、一五三	一五、九八七
計	二七、三三三	九、六五五	八〇	三二、一〇八	六八、一七六

第六表

本道人口ト消費乳肉量比較表

年次	人口	消費乳肉量	
		一人一ヶ年肉量	一人一ヶ年乳量
大正元年	一、四四六、三三三	二、一〇七、九六六斤	五、七六三斤
十四年	一、三三八、七三六	二、三六三、九六三	六、七七六
十四年	一、六〇〇、四四四	三、三六六、七六六	七、〇七〇
十四年	一、六六七、五九三	三、七三三、〇〇六	七、二六二
十四年	一、七九〇、〇九九	三、七三三、〇〇六	七、二六二
計	八、一〇〇、三六八	一、五、一三三、四三三	四、七、七〇七、〇〇〇

第七表

馬匹去勢成績表

支應別	四十一年	四十二年	四十三年	四十四年	大正元年	計
札幌	二四	二	一	一	一	二五
空知	四	一七	一	一	一	二一
上川	三	一	二九	六	一	五九
後志	二四	一	二二	一三	一	三七
檜山	二	一	二二	一	一	二九
函館	二	一	二五	二	一	二九
室蘭	二	一	三	二	一	二四
浦河	一一	一	二六	三	一	二四
河路	三四	四三	二六	三二	一八	一五三
釧路	三九	六五	一一〇	二六	一一	二五一
根室	一八八	二六九	二六三	一三二	七八	九三〇
網走	一一九	九二	一三四	三六	二七	四〇八
宗谷	六七	六五	七五	七四	五三	三三四
增毛	一七	二四	一九	一六	一三	八九
計	五三六	五七九	七二二	三五〇	二二八	二、四一五

第八表

畜牛結核病検査成績表

年次	検査頭數	病牛頭數	百分比
四十四年	一九、一五四	一〇二	〇、五三
四十二年	二二、六五七	九〇	〇、四〇
四十三年	二〇、八七六	八二	〇、三八
四十四年	二一、四四四	七八	〇、三六
大正元年	二〇、五四三	八六	〇、四二
計	一〇四、六七四	四三八	〇、四二

五大正二年度蠶業補助成績

大正二年度蠶業教師補助成績

區行政別	設置者	指導區域	戶數	蠶量	總額	補助金	擔當教師名	概況
增毛	皆前郡皆前村農會	皆前村一圓	七戶	三三、三	四、〇三	六、〇〇〇	田中末吉	普通
增毛	皆前郡羽幌村農會	羽幌村一圓	六戶	三四、九	六、六三	六、〇〇〇	鴻野令三	普通
後志	虹田郡狩太村農會	狩太村一圓	三戶	四九、〇	三、四八	六、〇〇〇	中山松之助	普通
後志	虹田郡俱知安村農會	俱知安村一圓	二〇〇	五〇五、〇	八九、〇〇	六、〇〇〇	經森德誘	普通
後志	余市郡赤井川村農會	赤井川村一圓	六戶	三三、〇	三、〇八	六、〇〇〇	中山德太郎	不良
後志	太宰郡太宰村農會	太宰村一部若松中心トシ三里内	三	七、八	一、六三	六、〇〇〇	大嶺幸五郎	不良
增毛	天鹽郡遠別村農會	遠別村一圓	九	三六、〇	五、四〇	六、〇〇〇	二郷逸平	普通
增毛	增毛郡增毛町農會	增毛町農會區域一圓	四	一五、三	三、五三	六、〇〇〇	佐藤利喜藏	良
增毛	天鹽郡天鹽村農會	天鹽村一圓	三	一九、三	二、六〇	六、〇〇〇	荒谷三郎	普通
空知	空知郡浦臼村農會	浦臼村一圓	三〇	一、八四七、三	三、八、六八	六、〇〇〇	松本磯吉	普通
宗谷	利尻郡鷺泊村農會	鷺泊村一圓	一	六、〇	〇、〇〇	六、〇〇〇	高増助一郎	不良
網走	常呂郡野付牛村農會	野付牛村一圓	一	一、六、〇	三、六、〇	六、〇〇〇	片岡貴策	普通

大正二年度簡易養蠶傳習所補助成績

行政區別	名稱	位置	設置者	傳習日數	生徒數	入所修業量	春蠶	夏蠶	製絲	製絲	經費	補助金額	成績	擔當教師名
志後	東安	社田郡東安村	興産會	二四日	一五	二〇六、七六	石合	石合	石合	石合	九三〇・〇〇〇	二七〇・〇〇〇	田中カツ	
志後	知安	社田郡知安村	後志支會	二四日	二五	二〇六、七六	石合	石合	石合	石合	九三〇・〇〇〇	二七〇・〇〇〇	田中カツ	
館函	松前	松前郡大字	農會	二四日	一六	一、八〇〇	石合	石合	石合	石合	四七〇・〇〇〇	一六六・八〇〇	木田次郎	
志後	岩内	岩内郡前野村	團長	二四日	一五	二、一五〇	石合	石合	石合	石合	二、一五〇	一七五・〇〇〇	館光之助	
志後	利別	利別郡利別村	北海會	二四日	三	八、一〇〇	石合	石合	石合	石合	四七〇・〇〇〇	二四〇・〇〇〇	清野文次郎	
川上	川上	川上郡川上村	農會	二四日	一六	一、八〇〇	石合	石合	石合	石合	四七〇・〇〇〇	一六六・八〇〇	木田次郎	
計				七四	七四	七、四〇〇	石合	石合	石合	石合	三、三三〇・〇〇〇	一、一〇一・〇〇〇		

大正二年度模範桑園補助成績

行政區別	設置者	所在地	栽植年月日	桑園段別	仕立方及苗木數	經費	補助金額	概況
山檜	瀧棚太掃郡農會	東瀧棚村字丹羽	明治四十二年五月十一日	高木 一、〇〇〇 根刈 一、〇〇〇	春蠶用高木仕立 一、〇〇〇 夏蠶用根刈仕立 一、〇〇〇	一〇〇	八、〇〇〇	概況

大正二年度生繭殺蛹乾燥場補助成績

行政區別	設置者	位置	種類	殺蛹乾燥場	經費	補助金額	備考
館函	松前郡福山町長	福山町大字西館	乾燥器	同ノ殺蛹乾燥場	一、〇〇〇	五、〇〇〇	真
知空	川空村農會	砂川村字奈井江	乾燥器	同ノ殺蛹乾燥場	一、〇〇〇	三、〇〇〇	真
志後	社田郡知安村農會	俱知安基線西四十八	乾燥器	同ノ殺蛹乾燥場	一、〇〇〇	三、〇〇〇	真
知空	川空町農會	瀧川町瀧ノ川一ノ坂上	乾燥器	同ノ殺蛹乾燥場	一、〇〇〇	二、〇〇〇	普通
志後	社田郡狩太村農會	狩太村字真狩太	乾燥器	同ノ殺蛹乾燥場	一、〇〇〇	三、〇〇〇	

大正二年度桑苗親本圃補助成績

行政區別	設置者	位置	種類	殺蛹乾燥場	經費	補助金額	備考
志後	磯谷郡南尻別村農會	南尻別村字蘭越	乾燥器	同ノ殺蛹乾燥場	一、〇〇〇	三、〇〇〇	本乾燥二時間
山檜	利別郡利別村農會	利別村字珍古邊	乾燥器	同ノ殺蛹乾燥場	一、〇〇〇	三、〇〇〇	本乾燥八時間

西河	毛增	幌札	西河
河四郡芽室村農會	千歲郡惠庭村農會	南二村大字	西一三九線
五明治四十三年	五明治四十二年	五明治四十二年	五明治四十三年
五,000	五,000	五,000	五,000
道産	道産	道産	道産
三,五七	一,五〇〇	八千五百本	八,〇〇〇
三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇
三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇
培養費補助	培養費補助	培養費補助	培養費補助

大正二年度普通桑園補助成績

段別	補助金	新設	補助金	合計
四一四、四〇〇	一、三四四、二〇〇	一六三、五〇〇	五四二、五〇〇	五七七、九〇〇
別	補助金	別	補助金	別
補助計	一、八八六、七〇〇			

大正二年度稚蠶共同飼育場補助成績

蘭室	蘭室	知空	區行政
新辨山邊梨村	伊達	農志内會村	名
四四線	村有珠郡伊達	岸内村字下平	位
八、〇〇〇	七、〇〇〇	五、〇〇〇	置
一八、〇〇〇	五、〇〇〇	一〇、〇〇〇	蠶立
〇、三三三	〇、〇〇〇	〇、一〇〇	收蠶額
三	三	六	蠶量一旬
十明治四年	十明治四年	大正二年	收蠶額平均
三六、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二二、〇〇〇	額戶數
井上武造	山木誠吾	土野庸	年度設
普通	不頁	普通	課經費
井上森太郎	高野貞助	歌志内村農會長	補助金
			擔當教師氏名
			概況
			總代人

志後	志後	志後	志後	志後	蘭室	知空	幌札
苔谷地丹羽	南尻別村	小樽	苔谷地	小樽	虹田村	下赤平	當別村農會
羽	別	小樽	柳	柳	村	村	石狩郡當別
六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	四、〇〇〇	三、〇〇〇	五、〇〇〇	三、〇〇〇	五、〇〇〇
一六、七二	九、九四二	一九、八三三	九、三〇八	一〇、〇六六	四、六四〇	一六、六二〇	一九、四一〇
〇、三二八	〇、一五二	〇、三九一	〇、一三三	〇、一〇〇	〇、〇〇〇	〇、三〇〇	〇、三三四
三	一	二	三	三	六	二	六
大正二年	大正二年	大正二年	十明治四年	大正二年	十明治四年	十明治四年	十明治四年
	三三、〇〇〇	二二、〇〇〇	三〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二二、〇〇〇	三三、〇〇〇	一〇、〇〇〇
	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	八、〇〇〇	九、〇〇〇	八、〇〇〇
塚田藤太郎	堀口治八	小幡榮助	塚田藤太郎	和泉卯三郎	伊藤傳三郎	天野鶴吉	三田記一
	普通	頁	普通	頁	不頁	頁	頁
東瀬柳村農會長	根岸清作	菅原ソヨ	東瀬柳村農會長	中野仁左衛門	北川レノ	大西吉次郎	當別村農會長

14,24
175

大清宣統元年十一月廿一日
大清宣統元年十一月廿八日

北新張廟內

甲 陽 河
乙 陽 河
丙 陽 河
丁 陽 河
戊 陽 河
己 陽 河
庚 陽 河
辛 陽 河
壬 陽 河
癸 陽 河

終

